# 無產階級戰鬪雜誌

# 進め！

## 8月号

組合同盟の新たなる動搖と其の方向……木下八郎
勞靑における勞農派除名及び解消の問題……下村卯七

定價十錢

前號發賣禁止

## 本號一瞥

××黨事件のあらゆる逆宣傳と戰へ……谷則督
組合同盟の新たなる動搖とその方向……木下八郎
勞青に於ける勞農派除名と解消の問題……下村關夫
自主的組合青年部設立に關する方針…勞青中央委員會
朝鮮社會運動小史……斐成龍
太平洋勞働組合會議萬歲……
東京帽子、長鄕製帽、兩爭議に現れた社會民主主義者の裏切り……廣瀨寅
地主王國の居久根裁判……
▲小作人の屋敷に植えた樹木は誰れのものか……布施辰治
コミンテルン第六回世界會議の歷史的成果(二)……ブハーリン
東支鉄道問題……佐々木敬三
英國勞働黨内閣は勞働者の味方か……關東出版勞働組合
研究會の組織方法……花房靜夫
社會主義運動思出話(二)……岡野辰之介
赤い格の話(寓話)……土佐和芳

勞働者の室を飾れ

# マルクス大寫眞

## 内容

▲マルクスの生家
▲マルクス夫人
▲マルクスの原稿
▲マルクスの博士免狀
▲マルクスの署名
▲マルクスの旅行免狀
▲ロンドン亡命中のマルクス
▲ロンドンに於けるマルクスの住宅
▲資本論執筆當時のマルクス
▲晩年のマルクス
▲マルクスの墓

定價五十錢

# マルクス寫眞集

縦一尺五寸横九寸勞働者の家を飾るにふさはしきものだ。

(定價三十錢)

發行所 東京市外大井町坂下二六八〇 進め社本部 振替東京六九八五三番

# ○○黨事件のあらゆる逆宣傳と戰ひ犧牲者を大衆的に防衛せよ！

日本×××事件の全部の記事解禁が近く爲されると云ふ事は一般に豫期せられてゐた、然るに最近それは、其後に起つた事件と共に總括して發表される爲め延期され、九月頃に解禁になるだらうと云ふ情勢にあつた。

何れにしても此事件の記事全部が解禁になることはさまで遠いことではあるまい此記事の解禁と共に、支配階級のデマ逆宣傳は昨年三、一五後に行はれたそれに數倍するであらうことは明瞭である。吾々は此の支配階級の逆宣傳、及びそれに呼應するところの左右社會民主々義者共のデマに飽くまで抗爭して××××を守る準備が注意深く爲されねばならぬ。

既に支配階級は牢獄内に於て同志の一部を巧妙なる奸策にかけて陷れ、數名の反對派を結合せしめ、×××××に對立せしむる事に成功してゐる、大阪及び新潟の公判廷に於ける一部同志の意見は、此の支配階級の掌の上に乘つて踊つてゐる醜悪な姿を暴露した。

× × ×

牢獄に於ける陰惨なる生活、外部との完全な隔離、肉體的精神的打擊、それに検事及判事の巧妙なる働きかけ（智識階級には特に優遇とおだて上げ、抱き込み、あらゆる懐柔を試みる）等のなかにあつて、經驗に乏しい人達が、特に小ブル的インテリゲンチヤが陷穽に陷ることは容易なことである。

外部に於ては不倒不屈の精神を以て勇敢に戰つた戰士諸君も、未決監の永い月日には精神的な種々の動搖は誰にもある、殊に初めての入獄經驗者は信念の動搖すらあり宗教じみた贖罪的氣持に支配されることは誰でもが經驗するところである、それは牢獄生活は社會から隔離され、觀念的回顧的生活たらしめるべく仕込まれてゐるが故である、然るに實踐から離れ、囚はれの身となり、觀念的生活の中で檢事判事から受くるデマの情報を唯一の材料として思考すること、それ自身既に如何なる結論に到達するかを決定するのだ。

戰ひ利あらず、敵に囚はれの身となつた以上は、味方としての自分は死したも同然である。餘命あらば敵と最後まで抗爭することこそ、主義に殉ずる者の途である。歴史は之等の犧牲的人物に依つて光輝ある頁を綴つてゐるのだ、それに敵陣に囚はれとなつて最も不便な條件の下に味方の自己批判を爲さんとすることは、その出發點から誤りであり、非マルクス主義的非辯證法的である。

× × ×

聞くところに依れば支配階級の奸策は、一部のインテリゲンチヤを自己陣營中に入れるに苦心し、特別の好遇を爲し、反對派を互に接見させ、意見の交換を爲さしめ、外部への手紙も反對派は自由に意見を述べる事が出來、又同じ被告人でも手當の仕方に格段の差別があり、差入れ其他に至るまで頗る差別的待遇を受けてゐるといふことである。又最近では反對派は保釋を許されるだらうとの噂もある程である。如何に支配階級が巧妙に陰險的奸策を用ひてゐるかはこれによつても明かであらう。

此の支配階級に籠絡され憎むべき裏切り行爲を爲してゐる者は一部のインテリゲンチヤのみである。彼等の一味は大阪、新潟のみならず、東京を中心とするが如くである。然しながら吾々は、これによつて一部の小ブル知識の復活せる知識階級の本質を明瞭に知ると共に、我等の運動の上にその經驗を生かし教訓とせねばならぬ。

× × ×

濟度、之等一部の小ブル知識階級とは別に多數の前衛諸君は、文字通り血みどろの苦闘を續けて勇敢に最後まで本分を守つてゐる。

吾々は此の××苦闘のうちにある前衛同志諸君を大衆的に防衛し、支配階級の陰謀を粉碎し、最後まで×××員たるの態度を以て頑張らせる樣、外部からの働きかけ運動、慰安の方法を講ぜねばならぬ。その爲めには犧牲者救援會の運動を援け、組織の擴大、運動の積極的大衆的參加を以て、記事解禁、不當な迫害に抗爭し、犧牲者の即時釋放要求運動を敢行せねばならぬ。

思へ！第一×××事件の公判廷に於ける德田球一、渡邊政之輔兩君の堂々たる態度を…故佐野學、猪俣の一派が裁判所との抗爭を大人氣ないとして、妥協的裁判を爲さんとした時に、德田、渡邊兩君は檢事及び裁判官諸公を敵として、自ら×××員たる態度を持し何等ひるむ所なく、彼等を支配階級の走狗として、階級裁判の本質を暴露し却つて裁判官を裁判したではないか！そして之等兩君が其後如何に行動したかは諸君の知る所である。これこそは×××の態度である。

吾等はこの事件の前衛諸君が一部の裏切者の如き女々しい態度を足蹴に期待する。すばらしい勇敢さを以て、××家らしい行動を以て階級裁判に臨席するであらうことを…既に大阪、靜岡及び各地に於て勇敢なる同志諸君が身を以て階級裁判に抗爭してゐるではないか！、吾々は大衆的勢力を以て此の犧牲者の鬪爭と結びつき、飽まで犧牲者を防衛せねばならぬ。

支配階級の奸策を暴露し、階級裁判と戰へ！



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 組合同盟の新たなる動搖とその方向

木下八郎

## 一、組合同盟の動搖の性質

中間派の本質は『動搖』である。より適當に云ひ表すならば『動搖する右翼』である。

で、我々はしばしば現實の運動に觀る如く動搖を止めた中間派は『化石した右翼』となるか――日本勞働組合總聯合の如く――或ひは消めつしてしまふのである。

我が國に於ける中間派組合の支柱として自他共に許して居る日本勞働組合同盟は現時新なる動搖を捲き起しつゝある。動搖は政黨問題に於て一定の形態を表出した。即ち幹部が極度に反動的に進化し正にファシズムへの傾向を示し、それに對比して組合同盟の動搖の基礎となつて居た大衆は『戰線統一』のスローガンを××的な要求に合致せしめて行つた。此の幹部のファシズム化に對する大衆の××化は社會民主々義者の御都合的調理によつて――××的統一と社會民主々義者の統一の混同に成功したことによつて――一時間は和平をもたらし得たかの如くであつた。だが事は内攻して居たのだ。幹部の反動化と大衆の××化に板ばさみとなつた二三の日和見主義者共は徹頭徹尾づるをきめこむか――望月――大衆に押しまくられて刷新運動を始めざるを得なかつた――菊川、加藤、鈴木――。

刷新運動は大衆の參加するところとなつたが、刷新運動の指導部――菊川、内田、國山、鈴木等――は消極的な戰術主義の下に日和見し大衆を指導しなかつた。たゞに情報を集めて不安な眼をして、『動き』をながめて居るにすぎなかつた。戰闘的な要求の下に刷新運動に參加した大衆はじりじりして來た。刷新同盟の組織を即座に要求し、斷呼たる指導を要求して來た。すると此の指導部は顏色を變へて逃げだしてしまつたのである、自ら刷新運動を裏切つた刷新運動の指導部は遂に元の鞘に納まつてファシズム幹部共と新しい握手をかはし、憤激する大衆の抑壓にと出直したのである。

裏切られた大衆は遂にこれ等幹部の何物なるかを悟るに至つた。幹部に對する不平不滿から始まつた動搖は惡化して幹部に對する堅固なき反對派を形成するに至り、事情は一變したのである、何故ならば反對派は勞働運動に於て中間派組合の演ずる反階級的な役割を以上の動搖によつて體驗しまた左翼のみが階級の代表者であることを現時白色××の下に屈伏なき闘爭をつらぬいてゐる日本×××及び其の指導にある諸團體の英雄的行動に於てまざまざと教へられたから。組合同盟の反對派は遂に指導原則を左翼に求め、その反對派活動は急速に左翼への成長力を示し始めてゐる。

今や組合同盟の反對派は××的反對派である、政治的には×××の指導下に屬し國際的にはプロフインタンに統合される××的反對派である。最早此のことは明瞭前線を走つて大阪に達するには名古屋を通過すると云ふことは盲目でもとんまでもわかる如く決定的となつた現實の問題である。

幹部のファシスト的色彩、その全機關の反動化硬化、それに對立して張りめぐらされたる反對派の組織網、正にこれぞ組合同盟をいろどる新なる動搖である、そして此の動搖は恐らく組合同盟の最後の動搖であらう、組合同盟の中間派的性質は和解のクライマックスにばく進しつゝある、此の具體的な現象としては

1、勞農青年同盟の再組織の活動に表はれた××青年同盟への方向、勞農青年同盟の中心勢力は關東、關西に於ける組合同盟の青年勞働者であり、これが××的再組織の先頭隊である

2、最近東京で問題となつた東京帽子、長瀬帽子の兩爭議は完全にファシズム幹部がしてやられた、勞青及反對派の闘士は最後までストライキの指導權を死守し、幹部共の泣事を尻目にストライキ指導の優秀なる能力を發揮し、堂々と立派な解決をした

3、本年度の高砂工友會大會はさながら左翼組合大會の如き情勢をていした、其の提出議案の重なるものに。

國際勞働會議否認、勞働者自衛團の組織、帝國主義戰爭反對自主的組合青年部の確立等

此の大會は組合同盟幹部に對する示威であり、反對派であることの聲明である。

四、去る六月三十日組合同盟擴大中央委員會は勞農青年同盟排斥を決議したがその討論に於ては何れも大衆の××化に對する恐怖を表白したものであつた、また組合同盟大會は本來四月に開催される筈なのだが、動搖は遂に大會を秋まで延期せしめたのである。

五、ファシズム幹部と反對派との闘爭は十月大會(神戸)に於いて白熱化するであらうがその前哨戰ともみるべき八月の關東合同大會にはファシズム幹部が反對派の代議員數を減ずるために陋劣極まる策動をあへてして居るあくればまいきよにいとまない



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

謀し組合同盟はファシズム幹部と反對派の對立闘爭の發展の上に絶近の中間派的特性が際立つて眼だつものとなり、これあるが故に中間派の支柱としての地位を確保しつゝさへもある。

## 二、動揺の他の原因

政治問題が動揺の主たる原因であるが、われ／＼はまた他の原因をも追究し得る。

內部の分派的對立、協同責任の缺如、幹部のダラク、一般的組合活動のトントン拍子の右傾一つにはストライキに於ける傍觀闘爭論、二つには總同盟と競爭で官憲方面へのコビヘツラヒ、三つには左翼に對する極度の恐怖、四つには、五つには、それからアルベルトーマの訪問會が歡迎會に早變りした話—。

然しこれ等の諸傾向、諸問題は中間派組合と云ふ社會民主々義的『組織』の産物なのである、それ故中間派組合にあつては組織そのものが動揺の基礎となつて居る。かりに分派的對立と幹部のダラクをして舉げしめよ。

第一に此の社會民主々義的組織は階級利害に基いたものでない。それは始めより組織者幹部の利害に基いて組織される。であるから中間派組合の消長はその幹部の勢力の消長なのである。

これ等の幹部は大衆を各相應に分割して所有する—たゞ××的反對派のみが彼等の所有でない、—であるから彼等は各自の勢力を有し勢力關係を有し、その利害を異にし相對立して居る。大きく云へば幹部だけの關西關東の對立がある、神經質な關東側に對し關西側は『また理屈をぬかしとる。おいらは勝で行くぞ』と肩をしかめる。また個人的に云へば上條愛一と望月源治はそりが合はぬ。もとより總同盟に好意を有し上品な協調主義の先生である上條に對し總同盟幹部とは仇敵の間柄なる(個人的な意味でだ)そして生れつきの中間派(動揺)主義者であり京都勞働協會と云ふ陣營局を持つてる望月は常に異つた利害の上に立つ、

望月の動員勢は組合同盟に最強を以て誇る關東合同及び關東合同から分家した川口金屬と武藏勞働である。また上條の動員力は日本紡織の上のところ及び望月の待遇うすい子分共が望月にたいする出まかせの反感から時々上條の門をくゞる。菊川、鐵本、藤岡、會長の瀨松、それから別格の加藤、二流どころの小松原、臣島、石橋、齋藤等と數へ上げれば切りはない。彼等は時に應じて盃をくみかわし、時にふれて暗默し、さてはつかみ合ふ。

そして彼等はその度毎に大衆を武器として使用する。これ等の動揺は多かれ少かれ大衆の愚鈍を招來すると共にまたダラ幹に對する批判の眼をも開いてくれる。

また彼等の腐敗し行く度合はます／＼はげしい。政策問題に對して紛爭した際、ファシズム幹部は此の齒車組なる兇漢隊を造つたが、此の齒車組は麻生が田中大將から頂戴した一萬一千圓の御利益にあづかつて居たことは疑ふ餘地がない。日本紡織の吾嬬支部(東京モス)及び城東支部(東洋モス)は何れも一千圓を越へた組合費のつかひ込みから內紛をかもし遂に消滅した。此の血の出るような勞働者の醵出金は日本紡織から失脚した岩內(前日紡主事)山根(前日紡組合長)高橋(前日紡城東支部會計)等が先頭となつてこと／＼く遊興に失墜したものである。岩內のけつにくつゝいて甘い汁を分け合つて居たものに望月と上條が居る。

一萬二千の組合員を有した日本紡織勞働組合の勢力を三分の一に減じ、資本攻勢や官憲の彈壓のかわりに組合を破壞したものはこれ等幹部のダラクンであつた。

また總同盟の國際協約に對し、資本家の勞働者搾取の代用機關とまで怒鳴り、一時は國際協約主義、松岡駒吉に血の制裁まで加へ、天晴れ左翼の名を誇稱し得た彼等は今では此の勞働者搾取の代用機關の執行者となるまでにおちぶれた。日本紡織勞働組合龜戶支部(東京モス龜戶工場)は工友會と云ふ御用工場委員會の決議を以て四名の戰闘的勞働者を工場から放逐したことは有名な話である。また機械産業の大崎第一分會(品川製作)が全勢力を支配して居る、御用工場委員會は勞働の鬪士に協會よりの脱退を強要して居る。其他工場內でこうした役割を演ずる資本家の御用機關がずん／＼とふへる傾向にある、組合同盟の一指導者はこれに對してこう辯解した。

『組合同盟の方針ではない。が、支部や分會がます／＼階級主義に立脚し始めたことを證明し得る』と。

一體、こゝは何んのことを云ふのか、此の資本攻勢下にあつては資本家の陰にかくれて—組合を御用工場委員會の中にかくして—勞働運動をすることが階級的な戰略だと云ふ意味なのか。

いや、まだある。

最近のストライキ、東京帽子、長瀨帽子の爭議では勞農青年同盟に大衆の指導權を奪はれた關東合同本部は『理事會の決議なくして勝手にやつた爭議だから應援出來ぬ』等と力みかへつて見たあげくの果ては『帽子爭議は本部と何等關係ありません』等と警視廳に爭議の調停方を御依賴に出かけたと云ふではないか

彼等はかつて左翼と對抗するためには手段を選ばない、ダラ幹とスパイとは實にとなり同志である

これ等腐敗せるダラ幹をいただく組合同盟の組織はまた新たなダラ幹を無限に生産する。同時にまた下の大衆の腐敗化をたへず生産する。

かくして組合運動の一般活動はまた中間派組合に於ては動揺に出發し、動揺に終る。

××的反對派發生の條件は現時



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

此の動揺がいよいよテンポを早めるにつひて、すでに確實となつたファシズム幹部が上の方の機能で勞農青年同盟や反對派討論の小山

民兵操をくりかへして居る時、反對派は工場を××的に武裝しつゝある。

## 三、中間派同盟への機運

内部にかゝる致命的な矛盾を有する組合同盟は、其のファシズム幹部は如何なる方向に自らを維持し發展せしめるであらうか。

私の見通しは次の如きものである。

第一に組合同盟のイニシアチブによる中間派同盟の結成。

中間派同盟は大右翼聯盟の阻止のため、またそれと勢力を爭ふために實現するであらうが、然しそれはより左翼に對立し、大衆の左翼化防止同盟に轉することは現實の客觀的な情勢にてらして明かである。その指導者組合同盟にあつては總同盟等との競爭よりも、むしろ××的反對派に對する恐怖からして、大衆を欺瞞するための手段に導くからである。

何れにせよ、中間派諸分派の同盟はこれ等左翼恐怖病者のバリケードであり、合法主義の神聖同盟である。この同盟結成に好條件を與へるものは麻生、河野、田所等を頭とする日本大衆黨である。

日本大衆黨がドブねづみのような折衷者勞農一派を追出してからは同じくこの中間派同盟結成の必要を痛感して居る。

勞働者を議會主義に確保するためにも、動員力に於いて社會民衆黨と肩を並べてみえを張るためにも。

中間派同盟結成に當つて日本大衆黨はなくてならない産婆であるとともに産みの母ともなるであらう。彼等は大言壯語するであらう『何等、力とならない全國勞働組合會議をでつち上げるより、中間派同盟こそ資本の攻勢と宗派分裂主義に對する最大の威力を發揮する超階級體である』と。

だが、それにもかゝはらず中間派同盟は動揺を更に大規模なものとし、複雜化する以外の何物でもない。そこには各分派の首領が野望を鋭くし分派鬪爭の度合は一層激化され、最初消極的な部分が退却してこの同盟は崩壞するに到る。

かゝる組織形態の中に於いて××的反對派はより多面的な活動の舞臺を得られるのであるが、一時たりとも勞働者に對する反動的影響を思ふときには、その非階級的統一の意識を暴露してそれに鬪爭を集中すべきであらう最近非階級的な即ち社會民主々義の統一が流行する市町村自治會の現實同盟への屈伏的な合同——勿論自治會左翼派は反對派を形成しつゝある——全産業勞働組合のかき集め的な統一勞働組合の結成、地方政黨の提出とそれの社會民主々義的統一、此の傾向は組織し流行は新しい形態を生みだすにちがひない、然しながら戰鬪的な勞働者は此の傾向（流行）と鬪爭し大衆を××的陣營に獲得するために鬪はるべきである。

何れにせよ、此れ等の傾向に於いて社會民主々義的最大の收獲は組合同盟を中心とする中間派同盟の實現であるであらう。

## 四、反對派の出現と分裂の可否

以上、組合同盟をおそひつゝある新なる動揺と動揺の方向につひて、われわれは一應の理解するところとなつた。

然らば組合同盟内に於ひてその指導と社會民主々義の組織に××的に鬪爭し、組合同盟の全機關にむらがるファシズム幹部に對し妥協なき活動を以て大衆を××的陣營に獲得する任務を有する××的反對派はどれほどの實力を以て何時公然と大衆の中にまたファシズム幹部の面前に出現するか。

また、そのことによつて分裂が始まるか、私はこれに對してかく豫想して置かう。

××的反對派は直接工場に實力を置き、全國的に組織されて、

それは案外早く多分十月の神戸大會前後に公然と出現し、勞働運動全體の上に大きなショックを投げつけるであらう。

分裂は、恐らく出來ない、分裂するのはファシズム幹部であるが、すでに現在かくある通り巧妙に張りめぐらされる反對派の組織線をファシズム幹部が打破することが容易でないこと

反對派はあらゆる組合に存在し除名や分裂によつて動揺を釀することが絶對に出來ないこと。

次第的な分裂となれば反對派は有利な地位に立ち、ファシズム幹部は破滅に直面すること。等。

分裂すれば組合同盟は最早中間派の支柱ではない、それは急速に硬化し化石するであらう、丁度組合總聯合のように。

だがこれはより妄想的である。實際は分裂は殆ど不可能といつてもいい。

總同盟の第一次（評議會）第二次（組合同盟）の分裂よりはファシズム幹部と反對派は遙に複雜した組織關係に置かれて居る。何故なら反對派は機械的な分裂をさけるために、即ち分裂が不可能な程度にまで幹部の合法的組織に對しそのすみずみまでも非合法的にある部分は公然と反對派組織を貫くであらうし、優秀なる活動分子（工場に於ける）はことごとく反對派の吸收しつくすところとなるであらうから。かくして此の新しい動揺は可成り長期のものとならう。

××的反對派はプロフインターンの大衆獲得の一戰鬪部隊としてのみ、その組織的意識を有する。

われわれは、今や、如何にして組合同盟内に反對派が成長し、それが××的反對派にまで組織され得たか、組合同盟内に於ける反對派の一般的特種的活動の領域如何、その指導の問題、左翼組合との關係如何、即ち反對派の意義と任務について、より良く理解せねばならないときとなつて來た。然し、私は機會を選んで獨立した意見を發表することにしたい。



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 勞靑に於ける勞農派除名と解消の問題

下村靜夫

## 一、勞靑の生成過程

本年一月廿一日全國勞農靑年同盟が創立大會を擧げてから、半年をやつと經過した今日既に同盟の戰鬪的解消方針が確立された。四月二十日東京府支部創立大會に於いて、其の方針が前面に押し出され、爾來工場と農村に一切の社會民主主義との執拗なる抗爭を續けられてゐる。

僅に、勞靑の發展過程はあはただしく急速であつた。此の勞靑の發達過程を一瞥しておく事が、解消方針を理解する最も必要な前提であり、六月廿八日の本部常任委員會が斷乎として勞農派幹部（武田、竹本、波多野）を除名した階級的行爲が是認されるであらう。

×

全國勞農靑年同盟の創立以前においては、如何なる方針が決定的であつたか、それは改めて云ふまでも無く、百%の左翼社會民主主義的方針であり、山川、猪俣等の共同戰線黨理論の靑年同盟への適用であつた。此の勞農派の意見に對立したものが、日本農民黨系と組合同盟の本部派の意見であつた此の二つの意見の具體的相違點は同盟は日本大衆黨の支持を表明するか、或ひは戰線統一主義を支持すべきかにあつた。

日本大衆黨を支持すべしといふ一派、即ち日農系、日勞系の主張する根據は、日本大衆黨の支持を明確にしない限り、大衆黨の幹部及び組合幹部の承認を得る事は出來ない。同盟の勢力を確立し增大するためには、此の聲明が絕對的に必要だと。

このグループに對して、日本大衆黨を支持せず戰線統一主義（所謂勞農派の理論）に協力すべしとする方針の根據は、日本大衆黨の戰線統一執行方針（第一同執行委員會で決定された）の消極的なる反對であり、靑年同盟は日本大衆黨の反動的諸幹部に對立し、最も積極的に鬪爭すべきであるから平野、麻生の左右する日本大衆黨の支持を表明して、戰線統一の積極的方針をサボつてはならないといふにあつた。其の他、新靑年同盟準備會と社會靑年同盟への働きかけの戰術論が、この方針にからまれてゐた。

『勞農』二月號に木下周作君はこう云つてゐる。

『全國勞農靑年同盟はその構成分子が日本大衆黨員であると否とにかゝはらず、一黨一派に偏せずして、その强力なる力により現靑年運動の分裂的狀態を固實の全國的な大衆組織の結成へと押し進めつゝ倂未組織靑年大衆を鬪爭へと指導しなければならない。

同盟の構成人員が概ね日本大衆黨員であるといふ事實は次の如きおそれを抱かしめる。日本大衆黨の性質として當然想像される黨內の一部靑年分子の我儘な反撥を怖れ同盟が日本大衆黨靑年分子を完全に同盟に參加せしむる事を『當面の任務』と考ふるが故に日本大衆黨支持（1）などゝいふ決議を表明する事である。若し、靑年同盟の役割任務を深く考慮に入れ、現勢を觀察し、靑年運動一般として考へるならば、いま同盟が大衆黨支持を表明する事は目先の少利はあるが、ヨリ多い弊害を階級運動一般に投げ與へる事に思ひあたるであらう。（そして、筆者）常にあらゆる機會を通じて新靑年同盟準備會をして新靑年同盟を創立せしむる方向へ導き、又全日本無產靑年同盟の再建に努力すると共に社民黨系靑年同盟內部の階級的に進展せんとする力を助長しなければならぬ。』

此の方針、即ち勞農派の理論は何故に靑年大衆に支持されたか。現在勞靑の解消方針の下に果敢に戰つてゐる同志の大多數はこれを支持した。それは、當時の勞農靑年同盟員の階級的未成熟の結果であつた。勞農派の本質ははつきり認識されてゐなかつた。戰線統一といふカケ聲が、其の社會民主主義の正體を隱蔽してゐた。七黨合同、全政治戰線の統一の幻影が支配してゐた。だから、日本大衆黨の合同方針を固定化した右翼幹部への反感が、勞農派の方針の支持に向けられた。

かくして創立大會が持たれた。創立大會における鬪爭方針は全國勞農靑年同盟を規定して、『大衆的靑年運動とは（略）前衞的靑年同盟との區別を意味する』となして、××靑年同盟と合法的靑年同盟とは二つ別々は持たねばならぬとする勞農派の理論を充分に展開してゐる。小堀甚二君をして云はしむるならば、其の鬪爭方針は申分のない良く出來たものであつた。誠に、勞農派にして見れば一つにまとめあげて、××靑年同盟に對立し、又又日本大衆黨を結成して×××に對立した事は、大出來だつたからだ。創立大會において、新靑年同盟準備會內の合法



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

主義者の助長が可決され、全青年戰線の統一は全國勞農青年同盟のヘゲモニーの下に遂行されねばならぬと高調せられた、そして、自分自身を忘れた社會民主々義の排撃が行はれた。

しかし、勞農派の成功は一時的であつた。勞青の創立大會はすでに日本大衆黨幹部の醜悪なる裏切りの暴露されつゝある中に誕生した。即ち、田中、平野、麻生の取引事件を機として、清黨運動が大衆的に展開されんとしてゐた。

日本大衆黨の創立より崩壊に至る半年間は全く社會民主主義者の本質暴露の過程であり、殊に左翼社會民主主義者の沒落の過程であつた。勞青は創立以來、社會民主主義首領の裏切りとそれをめぐる内紛の渦中にあつた。社會民主主義者はこんな事を常にやるものであるといふ事が頭にタゝき込まれた。又、勞農派は社會民主主義者としての本質からして、平野、麻生等との闘爭をも積極的に遂行し得なかつた。

一方、支配階級の白色××をくぐつて無新及びマルクス主義は廣く工場農村に持ち込まれた。そして、日本大衆黨中勞農派の社會民主主義的正體を暴露し、無産階級の×は只一つであり無産青年の組織は××青年同盟一つあれば充分であつて、それに對抗して組織する一切のものは恐く支配階級の分裂政策に呼應する反動的對立物である事が明かにされた。そして階級的青年大衆の爲すべき任務は××の大衆化と、××青年同盟の強化擴大のための闘爭である事が示された。

此の正しき方針を眞先に汲み取つたものは、同盟内において最も戰闘的工場勞働者を持つ東京府支部であつた。

東京府支部闘爭方針はわが全國勞農青年同盟を規定して云ふ。

「それは(勞青の事)左右社會民主々義と其の闘爭の青年部隊によりなる。成程其の組織は工場と農村に重點を置き、青年勞働者及び貧農青年の經濟的要求を政治的に結合して、青年獨自の闘爭を展開し得るし(だが社會民主々義的に)大衆動員の條件を具備してゐる。が亦多分に反動性をも所有してゐる即ちまだ社會民主々義者の指導と影響から充分に脱却してをらず、故に社會民主々義的青年同盟として固定化し、戰闘的プロレタリア青年組織に鋭く對立し其の強化擴大を妨げる危險これである。」

「我が勞農青年同盟が眞に階級的目的に進むためには如何なる事が必要か、斷然たる質的轉化への努力と闘爭とそして社會民主々義的指導と影響からの理論上及び組織上の完全なる獨立これである

それは戰闘的プロレタリア青年組織への進出であり、その大衆化への協力であり、眞にわが同盟の英雄的行動による解消過程を意味する」と。

此の創立大會は戰闘的工場勞働者と勞農派との尖鋭なる對立の下に開かれた。當日提出された議案は明かに之を物語つてゐる。曰く

「統一戰線同盟排撃に關する件」「統一戰線支持に關する件」「勞農新聞支持に關する件」等々を見てもはつきりわかるではないか。

だが、此の日創立大會は官憲によつて解散を命ぜられ、解散後の×合法の創立大會は、××青年同盟への協力のための方針が滿場一致をもつて承認された。

勞農派にして見れば、前號において同志花村が云つてゐる如く、全國勞農青年同盟を社會民主々義的同盟と規定する事が出來ない。

だから彼等は、東京府支部創立大會において「左右社會民主々義と戰へ」のスローガンの撤回を叫んで嘲笑を買つてゐる、此の勞農派の裏切は、戰闘的東京府支部に對立する所謂第二支部の結成によつて具體化した。大會の宣言を云ふ。

「我々は全國勞農青年同盟を全勞農大衆の協働、動員の組織とする我々は絶へず共同戰線を張り擴げ眞に文字通りの全勞農大衆の階級的大衆團體としなければならぬ。

その故に、勞農青年同盟をして直に前衛的青年同盟に代位せんとする傾向と抗爭しなければならぬ」として、勞青の解消方針に明かに對立し、全國勞農青年同盟の擁護を叫んでゐる。そして、彼等は、勞青の解消方針にありとあらゆるデマゴーグを飛ばして、陰に陽に支配階級の手先をつとめつゝあつた白色××の白刃の下にさらされつゝある××青年同盟への協力は、兇暴なる支配階級の狙ふところである。

四一六事件によつて二名の同志を奪はれたる勞青は、何時までも危險極まる病菌、合法主義者を默認しておく事が出來るであらうか否。

## 二、勞農派幹部の除名

六月二十六日の中央常任委員會は、斷乎として『社會民主主義組織たるわが全國勞農青年同盟の階級的解消方針を妨害するものとして武田、竹本、小堀、波多野、森村、丹下の七名の中央常任委員と部員とを除名處分に附し、併せて第二支部に對して解散と解消方針への協力を勸告するところがあつた

除名理由は、彼等勞農一派が同盟の戰闘的方針に對立して、後生大事に守りつゞける合法的青年同盟必要論(××青年同盟に對立する)×××に對する彼等の態度、及び勞働組合運動に對する彼等の態度(本誌前號所載の同志千葉の『全協と勞働組合の反動性參照)における數々の裏切りの實踐を指示してゐる。

飛躍せる勞農派の裏切りはお話にならぬ程恥辱的となつた。

白色×××の白刃の下にあつて×公然の運動へと轉化しつゝある勞青東京府第一支部に限りなき憎悪をもつ彼等は、例へばこんな事を臆面もなく云ふ。

「本部は××君の家にある、誰それの所でやつてゐる」それは、對手が何であらうとから通報する。スパイなどにも平氣である。社會民主主義は、社會民主主義の敵に對して洵に無細心である。

最近、勞農派除名の決議に對抗して彼等の出した聲明書を見れば、こんな文句がある。

「同盟は曾て、同盟を日和見主義存在、又社會民主主義的組織と決定し『階級的解消方針』とかいふ悪戯を實習したことも斷じてないと、それは、勞農派にして見ればたしかにさうだ。

×××や××青年同盟は蛇よりも嫌ひなグループにとつては、×の大衆化や××青年同盟への協力などは問題にならないのだ。

前號において同志花村がいふ樣に、『一體これでは資本家地主と何處が違ふのだ』

彼等は更に、勞青の解消方針を妨害する爲には彼等が常に『勞農新聞』をもつて妨害して來た『無産者新聞』第二二七號の勞青に對する記事を逆用して、ありとあらゆる悪辣なるデマゴーギを飛ばしてゐる。

しかし、事實は勞農派の態度とは顚倒してゐるのだ。われらの『無産者新聞』は勞青に對して常に指導して來た。だが、打續く白色××の迫害網の破壞は、勞青の狀勢を充分に汲み取る事を不可能ならしめた。結果、事實と相違する記事が揭げられたのである

しかし、それは同紙二二八號に依つて明かになり、同盟も過去における日和見的傾向の清算を聲明した。無新は勞青の指導者である。

わが同盟が社會民主々義的形態よりの質的轉換の過程において、困難なる鬪爭であればあるだけに幾多の誤謬を生むといふ事は考へ得られる事だ。しかし、勞農派の樣に××××に對立する事に浮身をやつした事は只の一度だつて無いのだ。××青年同盟への協力のための鬪爭の困難にして複雜な環境から生じた誤謬であつたのだ。われ〳〵は誤謬の清算を一度だつて拒否した事があつたか。××青年同盟の正しい指導には飽くまで服從する階級的信念をもつてゐる。勞農派の立場は全く正反對なのだ。

彼等はことごとに『勞農新聞支持、統一戰線同盟支持』のあやしげな旗をかつぎ出す。その勞農派が、無新を指して階級的政治新聞などと選擇にでも云へたことではない。

同盟の『勞農派七幹部除名』の聲明書が云ふ如く

『彼等は戰鬪的東京支部に挑戰するためには手段を選ばないのだといふ事がこの一事を見ても明瞭である』

以上の樣な行爲は、階級的恥知らずによつてのみ初めて爲される仕事だ、づう〳〵しくも、臆面もなくよくやつてのけたものだ。だが、勞農派の諸君、心配するな、彼等のデマの云ふ樣な『赤旗』（無新で暴露された解黨主義の一派）の指導者は同盟には一匹だつてゐない。わが同盟はまつしぐらに、そして正しい方針の下に××青年同盟の大衆化のために鬪爭する方向に向つて鬪爭を續ける。

××青年同盟を信じてこそ、初めてわが同盟の解消方針が理解され得るし、鬪爭が出來るのだ、勞農派の樣に×××や×××青年同盟を信じないものには永久に分りつこない事だ。

しからば、勞青の解消は如何に爲されつゝあるか。

同盟は、前號において同志花村が述べた如く中間派勞農組合における自主的青年部の確立によつて其の解消を具體化さんとした。しかし、中間派勞働組合例へば組合同盟における自主的組合青年部の確立は極めて困難なる鬪爭である組合同盟の全國大會中央委員會は六月三十日東京において開かれたが、彼等はわが同盟の排擊を決議し『勞青を脫退せよ、脫退せなかつたら除名だ』とぬかしてゐる、この一事は、勞青が今後左右幹部の社會民主主義との戰端をより精力的に張り擴げねばならぬ事を示してゐる。

勞青は今後組合同盟の××的反對派との協力の下においてのみ、自主的青年部確立のための鬪爭を強力に戰ひ得るであらう。勞青の解消方向の具體的目標である自主的組合青年部確立の方針は、勞青本部の發表した方針書が本誌上に揭げられるであらうから、玆では觸れない事にする。最後に重ねて斷言する。××青年同盟を信じ得ないものに取つては、到底勞青の解消方針を理解し得る事は出來ないし、其のための鬪爭を遂行する事はより不可能な事である。

## ゴシップ

×

たまには除名する氣になつて見たいと勞青の勞農派安達惣肥を除名し、神谷神庭の常任を擁護すとの珍妙な決議をコネ上げる。但自分達の方がお先に除名されてゐる事は棚の上にあげての話。

×

勞青の解消など考へた事はありませんと勞農派仰しやる。御尤もで、資本家地主とは隣同志で、×××とは仇敵の御身分で。

×

關全本部はタ、キコワサレ、全部ウチワモメ交にゴナンツヽキで。



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 自主的組合青年部確立に關する方針

勞農青年同盟中央執行委員會決議

## 一、組合青年部の意義と役割

一、社會民主々義組合内に於て自主的組合青年部確立の爲め闘爭することは、社會民主々義者の指導と組織に對する、斷乎たる反對とそれとの闘爭を組織することの一つである。

それ故に我が同盟の再組織闘爭によつて確立を闘はれる自主的組合青年部は、左翼組合の自主的に組織された組合青年部と共に××青年同盟の貯水池となり、また社會民主々義組合内の成人青年勞働者を含めた○○的反對派結成の上に大きな役割を演ずるといふことを、若し疑ふものがあるならば、それは社會民主々義陣營内に起れる現時の動搖の形態を具體的に把握し得ない者か、プロレタリア獨自の確信を持たぬもの丶みである。

我が同盟は確信を持つて着手しよう。

社會民主々義組合内に於ける自主的組合青年部確立の闘爭へ。

銘記せよ！それが××青年同盟大衆化のために戰ふ我が同盟解體の主要なる條件である事を。延いては左翼組合と同様に、××○の一貯水池となるべき○○的反對派結成の基礎的な闘爭であることを。

二、工場に於て青年勞働者は益々勞働條件を引下げられて居る。

同一勞働に對する不平等な支拂ひ、特に昇給期の廢止、青年勞働者昇給率の低下、時間延長、特種的には青年勞働者をめがけての強制貯金、待遇施設の廢止、絶えざる失業の威嚇、また一方では支配階級による政治的自由の剝奪、階級闘爭への參加の阻止、苛酷なる軍國主義の負擔、文化的要求の蹂躙等、悉く抑壓されつゝある。

産業合理化と新帝國主義××の準備とはこれ等の弱質を發達に押し擴め、急迫化せしめてゐる、然るにまた帝國主義下の生産過程に於ける青年の役割は增大され、成人勞働者に對する青年勞働者の比率は高まる一方なのである。

三、勞働組合は成人青年勞働者を含めて、是れを日常の初歩的經濟的利益擁護のために組織したゞに初歩的經濟的要求のみならず、××○指導の下にプロレタリアの政治闘爭に大衆を動員し支配階級と戰ふ最も廣汎なる戰闘部隊であらねばならぬ。（プロレタリアの政治闘爭に於て××青年同盟は××○の指導を支援する）勞働組合は工場に於ける青年の以上の特種な利害に着目し、大衆を動員し強力な闘爭に導く爲めには組合内の全青年勞働者を結合する青年の特別な組織が必要なのである。

其組織が青年の獨自な問題を取上げて大衆討議に上せ、活潑なる活動方法を取り、青年に對する吸收力を強め、青年の獨自(特種)の立場を生かす自主的な組織としなければならぬ。此の必要から生れたるものこそ自主的組合青年部である。

かゝる青年の自主的組織こそ××青年同盟の貯水池たり得るし、××青年同盟のより大衆的な活動舞臺ともなるのである。

四、然しながら、以上の如き自主的組合青年部は左翼組合に於てのみ、組合の方針として、上から下まで青年が組合の協力を得て組織し得るのであつて、反動的な改良主義が全機關を占有してゐる社會民主々義組合には急進化せる青年大衆の反對派的闘爭の大衆によつてのみ、確立が可能となる、即ち社會民主々義組合内に確立すべき自主的組合青年部は、上から下までの形式ではなく、工場に基礎を有する確立の闘爭にある。

社會民主々義者は青年勞働者の利害に冷淡であるばかりでなく、青年勞働者の特種の利害を全然無視して居るのである。青年部は一専門部として名のみに止め、また青年の何等か別個な組織を認める場合は幹部の反動的な道具として役立つときのみである。

從つて社會民主々義者は青年の自主的組織を斷然認めない。

五、故に確立を闘爭とする自主的組合青年部は斷然たる反對派闘爭の一つであり、先づ工場を基礎として活動しなければならぬ、各工場の闘爭が組合別に結合され、結合された組合別の闘爭は地方別に、そしてまた全國的に集中組織される。

かくの如く確立を闘爭する自主的組合青年部は左翼組合の自主的組合青年部と同一なる意義を有することは明かである、勢力の差はあつても性質の差はあるべき筈はない。

我が同盟は○○的再組織の立場から社會民主々義組合内に確立すべき自主的組合青年部の意義と役割を以上の如く規定する。



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

## 二、直接工場からの組織と活動の方法

六「鬪爭は一切下から、工場から」といふスローガンを發し、それを「再組織に着手する第一の原則」としたことは正しかつた（社會民主々義との鬪爭及び再組織の問題に關する當面の方針）

然らば直接工場よりの組織と活動の方法如何。進んで組合別の結合、地方別、全國的の集中組織の方法如何。

何よりも先づ次のプログラムは我が同盟が全機關を擧げての、卽ち全同盟員を擧げての鬪爭であることを忘れないやうに、そして相手は何よりも先づ日本勞働組合同盟である。

一、反對派的傾向の工場—此の場合、我が同盟の工場班は大半の或は全部の靑年を影響下に置いて居る、かゝる工場では工場の機關（支部または分會）から支持と協力が得られ公然と支部または分會の自主的組合靑年部は最初から組合とその幹部に對し堂々と行動し、同一組合內の確立の困難な工場を激勵し引上げてやらねばならぬ。

二、反動的な幹部の指導下にあり我が同盟の工場班が半公然或ひは非公然の存在に追ひやられて居る工場——かゝる場合は出來る限り味方を誘ひ、自主的組合靑年の趣を徹底せしめ、止むを得ざる場合には非公然にも自主的組合靑年部を造る、準備會は上部の指導及び成立した他工場靑年部の力を借りて公然たる存在のために戰ふこと

三、全く反動的に組織され我が同盟が成員を有しない工場——當面我が同盟の地區委員會及び同一組合內の確立した工場の靑年部が宣傳煽動を持ち込み動搖を起さしめ、其の動搖の中に組織を結成すること、最初、全く非公然な準備會を造る

かくて工場每に確立を斗爭され（中には確立した）靑年の自主的組織は組合別に結合して、○○組合靑年部準備會となるのである。此の靑年部準備會は工場に確乎たる基礎を有する限り最初から公然たる出現の下に活動しなければならぬ。二三人の役員、二三の工場の準備會等は或ひは技術上少しの間秘めなければならない事はあつても。

また地方別、全國的の集中組織の方法を次に示す。が此の組織は現在の狀勢よりすれば工場の靑年部が出揃ひ、組合別の結合が完成されてから始まるものでなく現在直に確立に着手しなければならぬ

全國的な統一した指導と統制がなければ、全國の活動を統一することが出來ないし、地方別の集中組織がなければ工場別の活動も具體的な指導を求めることが出來ず從つて組合別の結合も促進されない。

故に工場別の斗爭は勿論、地方別、全國的の集中組織も一日も早く確立しなければならぬ。地方別の集中は大地方とし、當面關東と關西に分ける。組織は協議會の形態とする。

四、關東靑年部協議會（勿論組合同盟の名を冠して）は我が同盟の東京府支部が中心となつて確立する。關東靑年部協議會準備會は工場內の鬪爭を指導し促進し、組合別の結合を實現せしめ靑年工場代表者會議、勞農協議會への參加のために活動し、大衆動員一般の號令者でなければならぬ。

五、關西靑年部協議會はすでに成立せる高砂工友會の自主的組合靑年部（我が同盟の兵庫縣東播地方支部の中心）のイニシアチーヴの下に、我が同盟の大阪、和歌山、兵庫に於ける各工場班は直に確立に着手すべきである其の任務は關東靑年部協議會に同じ。

六、全國的集中機關（準備會）は關東關西の靑年部協議會が協力の上、一日も早く成立さるべきだ。その任務は××靑年同盟のフラクション指導による方針を定め關東、關西靑年部協議會に一方針を與へ、全國的に活動を統一し發展せしむるところの機關紙を持たなければならぬ。

かくして下から上まで統一され組織された自主的組合靑年部は組合同盟內に、幹部の指導と現組織に對立した全國的鬪爭線である。最早このことは○○的反對派の一組織である。最早このことは社會民主々義的現組織をそのまゝにして置いて現幹部を放逐して機關だけを乘取らうとする不平組の革新派運動等とは根本から異なるのである。妥協は本質的に消え去つて居る。と同時に大衆獲得の××的な原則がそれに變つた。

以上の組織方法は我が同盟の全機關が擧げて鬪爭するならば何ならずして鬪爭は確立される。否、○○的再組織は着手されて居る。數十の工場から社會民主々義に對する鬪爭の火の手はあがつてゐる。

七、次に具體的着手に際しての一般的必要をかゝげるならば、先づ靑年部員の年齡の問題である。

工場に於て靑年勞働者として特殊の抑壓を受けるのは滿二十才以下（所謂未定年者）である。それ以上は成年勞働者としての取扱ひを受けて居る。故に靑年部の年齡は滿二十才以下に制限するのが至當である。然し社會民主々義組合內に於てはそうは行かない。成人靑年勞働者を含めた所の强力な○○的反對派が結成されて居るならいざ知らず、未だ大衆の前に公然と出現して居ない今日に於ては靑年部の年齡を二十才以下に制限したならば確立の鬪爭は出來る筈はない。我が同盟の○○的再組織の先頭に鬪ひ大衆を導いて居る同志は二十才から二十五才位までゝある。そして靑年大衆をして確立に鬪爭せしむるのは我が同盟の先頭に立つ同志達なのである。當面靑年部の年齡を二十五才以下とすることは止むを得ない。

けれどもこの止むを得ないといふ事情も○○的反對派（次號を見よ）が結成されたなら躊躇なく取除くことが出來る。

組合の機關（上部の）代表者の交換は社會民主々義組合に於ては出來ないし、また絕對そうした努力を試みてはならぬ、それは結局に於て反動的幹部との取引だからである。

然し工場の機關、卽ち支部及び分會の幹部會、委員會等には、出來るだけ代表者を送り込むべきで



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

あると共に場合によつては占領することさへも必要である。

青年部数は組合に加入する為数の一部を以て充てるために工場の機關を通じて闘争すること。社會民主々義組合数の場合は本部数の値下げ（莫大な組合数はたゞに勞働者を裏切り幹部の生活数と反動的役割に支出されて居る事實を見る）支部数の充實のために闘争すべきだ。

青年部はそれ等を闘ふと共に當面青年部数として一人五錢位の割にて別に徴集すべきであろう。

八、青年部の一般的活動方法を次に示す。これも配列の順を追ふといふやりかたでなくそれ相應の情勢に適應せしめて活動せよ。

一、先づ全國的に活動を統一するためには、集合的宣傳煽動組織者としての全國的な機關紙を全國の指導部から出さなければならぬ、全國的指導機關が確立するまでは我が同盟本部のニュースがそれに代るであらう

二、次に青年ニュース（一種の工場新聞）を各工場から出すのだがこれの發行、内容、配布については充分に技術を要する問題であるから地方青年部協議會が指導者を選定して方法の手引をすることにならう

三、絶えず闘争を高めて工場内の組織を強化すること、このためには青年の要求に基き闘争題目を決定し、闘争を誘發せしめ、情勢が急迫したときには青年職場大會、青年從業員大會に大衆を動員し、組織を強化し行くと共に成人勞働者との結合を強めてゆかねばならぬ

四、組合との共同は一切工場内で行ふこと、大小にかゝわらず集會はなるべく工場内で（休憩等を利用して）行ふこと

五、近接の工場青年部は相互に聯絡をとつて活動を強めること、未組織工場へ協力して喰ひ込むこと、この場合何れの組合に加盟せしむべきかと云ふ問題が起る、云ふまでもなく大工場、重要産業（金屬、電氣、交通、化學、重緒、鑛山等）の場合は必ず左翼組合と協力して左翼組合の組織へ（××〇の指揮の下に決定的に大衆を動員し得るのは左翼組合である）小工場、其他地方の事情に應じては組合同盟の〇〇的反對派に組織する。

六、自主的組合青年部に對抗せしめるために反動的幹部がお手製の青年部を造る、反動的青年部組織の最初に當つてはそのイニシアチヴを戰ひ取り、止むを得ぬ場合はその成立を妨げ、反動的青年部が組織されてしまつたなら反對派を造つて自主化の闘争を起せ、反對派を形成せずに自主化の闘争は出來ない、反動幹部の指導するところ、そこに闘争によらずして自主的青年部を形成せしめる如何なる手段もあやまりである

七、成人青年勞働者を含めた〇〇的反對派組織活動への參加、此の運動に於て青年は前線に立つこと

八、政治闘争への大衆動員、工場内に於ける反軍、反戰の活動、救援會の活動、これ等の闘争を通じての政治教育と大衆的訓練

九、一般的研究會の開催

無産青年、無産者新聞、勞働新聞の讀者獲得及び讀者會の開催

特種的な研究グループの組織

十、農村青年への働きかけ、闘士の派遣、資料出版物の交換、相互の闘争支持

十一、青年工場代表者會議、全國青年部代表者會議、勞農青年協議會への參加

十二、和氣あいあいたる青年的闘争方法の採用、茶話會、プロレタリア劇、キネマ、音樂會、ピクニック、スポーツ等

十三、勞働者自衛團の組織

以上の活動を全面に押し出し、支配階級及び社會民主々義との闘争に於て全線の攻守を有効に展開するためには、關東關西の青年部協議會及び全國的統一機關の設立が何よりも急務であることをくりかへしていふ。

九、此の上に青年部は特に年期奉公制、親方制度、強制的寄宿舎制度の下に長い勞働時間を追ひ廻され、勞働運動の圏外に追ひ立てられ、無智を強制され、ストライキ破り其他反動的目的のために使用されて居る徒弟大衆獲得のために利用し、特別の活動方法を立てゝ以上の諸制度の撤廢、徒弟の青年部への組織のために活動せよ。これなくして青年部は眞に大衆化することは出來ないし、社會民主々義に對し優勢を示すことも出來ない。

十、茲に活動するに必要なのは行動綱領である。行動綱領は最後にかゝげてあるが如く、左翼組合青年部のものと變らない。前に指示した如く青年部は本質に差違あるものでない。共に××青年同盟のフラクション指導による青年部なのであり、共に××的行動するのであるから。たゞ相違する部より起る技術の問題が殘るのみだ。

## 三、我が同盟再組織闘争の全國的な形態として

十一、以上に示した如く我が同盟再組織の全國的な形態は勞働組合と社民組合との自主的青年部確立の闘争である。

而も此の闘争に含まれる決定的な原則は、

1、××青年同盟の大衆化—即ち工場からの闘争を通じて××青年同盟へ加入すること

2、〇〇的反對派組織への協力—即ち反對派に全員加盟し、その強大化のために闘争すること

これである、自主的組合青年部確立の闘争がまた〇〇的反對派組織の上に決定的な役割を演ずとなす所以のものは、最近目立つて反動化した組合同盟とその内部の青年大衆が目ざましい急進化を遂げつゝあるといふ事實に依存する、

十二、然らばその具體的機能如何

再組織の戰術を決定し、闘争形態をより明確に理解するために必要であるから次に述べよう。

關東では政黨合同問題以來、日和見主義から出發した消極的な刷新運動が存在したが、その流れが大衆の急進化を誘發し、現在では非妥協的な反對派を形成するまでに到つた。

組合同盟の二大組合、關東合同と日本紡織の支部會や委員會は幾度ながら揉み拔いて機關としての機能は破壊されてゐる。

關東革技工や北部勞働でも下からの壓力による幹部の恐怖は日毎である。關東革技工の××除名の陰謀は大衆が先手を打つてたゝきこわした。北部勞働では秘密大



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

会までやつて労働者の闘争に抵抗中

過ぐる町会選挙には東京城北の青年は政治同盟の闘争に公然と参加して日本大衆党の議会主義と鋭く戦つた。こゝに原因した関東技工の××数名の除名は同じく東京城東では青年は日本大衆党の候補者に○○的闘争を強要して社会民主々義幹部と争つた。

更に最近のストライキを見よ。

東京、長瀬帽子争議は断然我が同盟の同志達によつて指導された。總力本部を以て鳴る関東合同本部はことごとく無力を暴露し『理事会の決議なしに争議をやつたから應援出來ぬ』と他の支部に應援するなといはぬばかりのふるまひをしたり、甚だしいことには『今度の争議には本部では関係ありません』と官憲に對して、わざく争議の破壊を宣傳に及んでゐる。

小坂ゴム争議も大衆の指導をメタ幹から奪ふために闘争された。

関西に於てはその中堅、高砂工友会は素晴らしい急進化を遂げつゝある。過ぐる工友会大会は自主的青年部組織を決議し、七月中には青年部創立大会が擧げられる。更に同大会は国際労働会議の否認を決議し、官憲によつて擁護を命ぜられた議決、資本主義戦争反對労働者自衞の組織、搾取者の救援会の支持の三件を新任さるべき幹部に一任、實現に努力すべきことに一決し、産業別合同への表示として名稱を高砂製紙労働組合工友会と改めた。

和歌山労働組合はすでに反對派として活動を事實上展開して居る

六月三十日組合同盟は（全國）擴大中央委員会を開催して反動的幹部の勢揃ひをした。

曰く、労農青年同盟排撃、國際労働会議承認。幹部は自主的組合青年部に對抗するために反動的な青年部を造るといふのである。折角造るといふ反動的な青年部の計畫さへも我が自主的青年部の闘争の中へ吸込まれる恐れはないか。組合同盟の青年大衆はほとんど全體としての急進化をとげつゝある現状の状勢を見極め、我が同盟はいよく強力に再組織闘争を展開せよ

十三、かゝる 大衆（特に 青年大衆）の急進化、それによる闘争の中にあつて指導機関に鎮座まします幹部は如何なる方向にあるか。我々はこのことを明確に理解する必要がある。

彼等は何れも徹底した純粋改良主義者である。從つて各幹部は相異なる利害関係に置かれては居るが総同盟を飛び越えてファシツムへ行く傾向に於ては一致して居る。

組合同盟に於て最大の勢力を有し、まだダラ幹としての優れた技能を有する望月辰治は、関東合同と東鐵労働の組合長であり、川口金吾も彼の支配下にある。彼は彼の命令で動く數個の分派を持つてゐる。彼の組合運動に於ける全生活は勢力保存及び伸長の活動であり、勢力は彼の出世の土台である

曰く、國際労働代表、曰く、労働代議士、マクドナルト

更に彼は東京府労働協議会、協調会との密約、厚生の秘書（彼は指導者）といふ脱税を有してゐる。彼は經名、成功を生命とする典型的なダラ幹である。

政治的合同問題を通じて物事をかもした刷新派運動の指導者、菊川忠雄は自ら刷新運動を裏切つて現在、関東革技工と北部労働を自己の手中に支配し『労農青年同盟排撃』の先端に立つて居る。彼は北部労働の大会で、各幹部をひきつらせ、監を手足と一しよに操はせながら、曰く『労資は平和な泉に石を投ずる者である。労資は反動である』と。この愛國主義者、平和主義者のシッポを見よ。

彼は最も悪質なブルジョア政治家と同様に『取引』の妙手である即ち闘争を納めるに取引を以てし取引を以て闘争を起さしめる所謂人事行政家である。

しかも組合同盟内の平和愛好を誰よりもふりまわす日和見主義者である。

鐵本利は日本紡織に割り込んで獨斷的に行動してゐるが彼の利害は組合同盟から獨立して居るのだが、大衆の急進化に對しては組合同盟と結合して抑止する。

組合同盟主事上條愛一は官僚のこちくでありまた鈴木文治のスパイである、彼は日本紡織の上の方にだけ支配が及ぶ、彼は自ら社会民主々義者であることを誇りとして居る代物、会長松岡駒吉は完全なるファシストである、彼は畢生と共にファシズム革命の英雄たらんとして、鉄路鳳に関月明を窺つて居る。

組合同盟の全機関（会長主事は云ふに及ばず）、中央委員会、中央常任委員会、各組合本部の執行部、反對派は別だ）はこれ等反動的幹部の獨占舞臺である、故に大衆の急進化は必然的に反對派を形成する。

十四、更に我が同盟はそれ等、反動幹部とその組織に充満する社会民主々義と如何に戦つて來たかを理解して置く必要がある。

我が同盟と再組織に對する無理解と誤解は日和見的過失の再生産となる恐れがあるから。事の始めは組合同盟の幹部から起る。

昨秋の政治的合同問題に於て合同派（左翼社会民主々義、田所輝明、加藤）に對する恐怖手段として反合同派（菊川を抜いた組合同盟幹部）が發案したのは関東青年前衛隊の再建である。

すでに急進化した優れた青年闘士達は幹部の反動的意圖を見破つて、準備委員会の中に執拗なる闘争を続け、これを組合同盟昭和三年度大会が約束した『全國労農青年同盟』への結成へと導き、全青年大衆の注意を換起せしめたのである。○○的青年闘士は遂に組合同盟の反動的幹部の企圖を見事に大衆の壓力を以て粉碎した。だが同時に新たな敵がそれに代つた。

現日労系合法主義幹部は社会民



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

主々義を突破して進む青年の傾向を發展し、自らは彼等の先頭に立てゝ準備會を御用化するために策動し、それが不可能となつたとき露骨に結成阻止と來たのである。

かくて我が同盟は徹頭徹尾、社會民主々義との闘爭によつて出生したのである（このことを忘れるな。）

此の大衆闘爭のスローガンは『戰線の統一』であつた。青年大衆は此のスローガンを○○的要求に合致せしめたのであるがそれが勞農派の詐欺師共に掠め去られて居ることを知らなかつた、勞農派が一時的たりとも自己の裏切性を正當化し得る機會にありついたのである。

これは我が同盟の急進化しゆく青年大衆に對する○○的指導のなかつたことを物語る。

然し結成と同時に勞農派の裏切りが實物として經驗し勞農派驅逐の闘爭が始まつた。我が同盟は極めて短時日の中に勞農派を驅逐し而も大衆を確保しつゝ○○的再組織に着手するまでに到つて居る。

闘爭の經過はかくの如し。故に我が同盟の結成に際して、社會民主々義者の欺瞞（たとへ勞農派を指すとも）といふが如きは皮相なる獨斷であり、不當なる批判である。結成に當つて闘爭する青年の代表者を無産者新聞は同盟を重ねて攻撃したことを以てしても明かではないか。

我が同盟の指導的な同志達は青年の急進的傾向を正しく導いた。○○的指導の（組織上の）ない故に犯した社會民主々義的誤謬も實踐によつて立ち所に清算し來たつたのだから。

然り。我が同盟の指導的な同志達はその階級的忠誠においては、一貫して居たのだ。

十五、然し今や事情はちがつて來た。我が同盟は傾向としての急進化より○○的立場にたどりついたのである。

再組織の立場は正に○○的な立場であらねばならぬ。こゝに地下組織を以て武裝して居る××青年同盟の組織上の指導が現實の問題となつて來た。もつとつき詰めていふならば自主的組合別青年部確立の闘爭は××青年同盟の指導によらねばならぬこと。我が同盟の解體は××青年同盟に導かれねばならないことである。

十六、さて、前述の敍述を見るといつた社會民主主義組合内（この場合組合同盟を指す）の○○的反對派について一言するならば。

○○的反對派の指導は確立して居る。

これを大衆化し一日も早く左翼組合と同樣に××○の貯水池たらしむることは現下の急務である。その反對派は全國的に存在する。その活動はあらゆる問題の裝面にあらはれる。要はそれを統一し全組織線に沿ふて反對派を張りめぐらし反動的幹部の集中組織に對抗して全國的集中組織を持ち公然と大衆の中に表れることである。自主的青年部は反對派の組織に全員として參加し其の強大化のために闘爭すべきことはすでに云つた。青年は反對派の主要な闘爭力であり、反對派は青年を○○的に確保しなければならないことはプロレタリアの國際的原則である。

十七、今や我が同盟は再組織闘爭の全國的形態として××青年同盟の大衆化と○○的反對派實現のうちに、その全能力を發揮して自主的組合別青年部の確立を闘爭するのである。

## 四、當面のストライキ戰略

十八、青年部確立の闘爭に當つて問題となるのはストライキである。

社會民主々義組合にあつては大衆の壓力によつて要求實現のために、幹部をたゝしむることは困難である。また幹部がストライキを指導するときは、闘爭を官憲の許す範圍に極限するし、また恥づべき妥協に導かれる。

ストライキの問題はより○○的反對派の問題である。然し強固なる確立なき今日、青年部の問題として當らなければならぬ。

自主的青年部は工場に於ける公然たるまたは非公然たる存在とを問はず、直接大衆に基礎を置くストライキ委員會を造り、大衆の指導權を幹部から奪取すべくストライキを闘はねばならぬ。また青年部はストライキ前から工場に於て青年勞働者の要求を全勞働者の要求としてかゝげ、上部の機關の（自主的青年部）協力によつてストライキの準備を闘ふべきである。

ストライキ戰術は大衆獲得の一問題である。ストライキに際しては情勢に應じた最も適切な戰術をたて、成人勞働者を動かして○○的反對派に結合することは勿論、左翼組合青年部との共同闘爭委員會、産業別の地方協議會を是非とも開催し、大衆を動員しなければならぬ。

十九、白色×××打ち續く今日に於てはストライキに對する官憲の彈壓は極度に猛烈なものとなつて居る。またストライキ期に反動團體が横行する。ストライキを闘ふに當つて秘密の行動グループは官憲や反動團體に對抗するためにも絕對に必要となつて來た。

行動グループは自衞團やストライキの各組織の中に班を造り規律を定めて秘密に活動し、○○的なストライキ委員會に統制される。

行動グループはそれ故、大衆の血脈となつて働かなければならぬ。

・ストライキ中の自衞團は、官憲の彈壓や、反動團體の暴行に對抗して、ストライキを守るには戰鬪的たる勞働者の英雄主義でなければならぬ。またストライキ終末後全く消散せしめて了ふやうなことはなく、ストライキ中に得た組織を土臺として全勞働者の自衞團の組織に協力すべきである。

二十、また青年ストライキについても充分な注意を拂ふべきである。戰術の合理化のために特に甚だしい



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

鬪爭を自覺せしめられて居る工場では青年は不平不滿で張り切つてる、かゝる工場で反動的幹部のために『自重』のお說教がくりかへされるなら青年のみのストライキは現實の問題となる。

青年ストライキは青年が活動力を持ち大衆を支配し得る工場では勝利は確信されるであらう。然し工場內に青年の實力がなく、成人勞働者の支持が困難である場合は青年ストライキは大きな危險をともなふものであることを把握しなければならぬ。

青年ストライキに對して青年部は協力的な態度をたゝかはなければならぬ。ストライキの進行中には必ず成人勞働者を參加せしめるやう努力せよ。かくてそれは社會民主々義に對する示威であれ。

關東關西青年部協議會は青年ストライキの特別な戰術的研究を行へ。

## 五、若干の見通し

二十一、此の方針には若干の見通しが含まれてある。見通しは次の如きものである。我が同盟の全成員は此の方針を次の見通しの下に活動し、再組織を戰ひ抜け。

二十二、現在、自主的組合青年部の確立は工場からぼつ〱鬪爭されて居る。要するに再組織は工場から着手された。最早、此の鬪爭を我が成員の存ずる(また存し得る)全工場に持ち込み、統一ゝ指導を與へればよいのだ。

先づ、關東關西の青年部協議會は直に造れる。(また造れ)その際組の打合せの上に、全國的機關(見かけだけの大げさは不必要)も八月中には造れ。またそれは可能である。

二十三、成立したなら關東關西青年部協議會は統一にオルガナイザーを派遣し、實際活動者を決定して活動を擴大し統一せよ。全國の青年部協議會が成立し、テーゼ、行動綱領が決定するまで此の方針及び最後にかゝげてある行動綱領によれ。

二十三。再組織活動を進めて行く上に、片時も眼を離してならないのは組合同盟幹部の大衆の中における運動と彼等の頭だけの統一に對する絶えざる監視である。生起する各問題に對する戰術を敏速に決定するために。

六月三十日の全國協大中央委員會では我が同盟に對する彼等の態度が餘すところなく暴露された。すでに我が同盟員に對する除名、放逐、暴行強要等の擴大中央委員會の指令は現實の鬪爭に移された。

青年大衆は自主的青年部の組織勞農青年同盟の支持を以てこれと戰へ。幹部の暴力政策には青年大衆の自衞團組織を以て答れ。

二十四、しかも最も果斷的に鬪爭すべき機會に準備せよ。曰く八月(東京)の關東合同勞働組合大會曰く十月(神戸)の組合同盟大會次に日本大衆黨大會、幹部はこれ等の大會に於て自主的青年部を抑壓しつくし、欺瞞的な反動的青年部(幹部の暴力的道具)を造らうとして居る。自主的青年部はこれらの陰謀をばらし、自主的青年部の階級的意識を青年大衆の間に徹底せしめよ。

二十五、八月の關東合同大會は十月の組合同盟大會の前哨戰となるであらう。青年部は是非共此等の大會を自主的青年部の大衆化のために戰はなければならない。

また產業別整理、先に高砂工友會大會で決した國際勞働會議の否認(全國協大中央委員會は夫と反對にまたも承認を決議した)等は如何にしても十月大會中心議題たらしめねばならぬ。要求は協力して各組合より提出せしめる方法を採ると共に青年部としても提出すべきである。自主的青年部だなんて、本部が承認なき組織だからと云つて幹部が相手にしなくとも構はない。要は大會に出席した全國の代表者に自主的組合青年部の必要を說き反對派の階級的任務を鬪爭に於て說明するのである。

二十六、更に青年部は全國大會、それが出來ない場合は全國代表者會議を組合同盟大會を期として開催する必要がある。これを行ふには(勿論開催地は神戸で)組合同盟大會前日位が最も適當であらう。一つには組合同盟大會に對する示威として、二つには全國的組織の完成の爲めに。なほ多分十一月か十二月に開催されるであらうところの日本大衆黨大會に對しては自ら別個な對策が必要である。我が同盟はこの大會を再組織完成の爲めに鬪爭しなければならぬ。

二十七、此の方針が手に入るとに共直に討議し活動を開始し、十月の組合同盟大會前後に於て再組織は最も熾烈に鬪爭される。そして日本大衆黨大會を期として我が同盟は實質上の解體を約束して置かねばならぬ、そこで××青年同盟の大衆化といふ問題はどうなるか。○○反對派の結成といふことはどうなるか。それが何よりも重大な問題である。

二十八、青年同盟にはどうして入るか?○下組織とはどんなものか?問ひはこの二つとなる。そして此の二つとも青年同盟のみが答へ得るものであり、我が同盟再組織の立場からは秘密に屬する問題である。從つてこゝには書かない。たゞに階級的誠忠を以て鬪爭し、自己を犧牲として戰はれるところにその工場、職場、農村に××青年同盟の細胞が建設さるべきものなることを確信せよ。

二十九、○○的反對派は日ならずして大衆の間に成長し大衆を組織するであらう。その指導は確保し關東關西共に地方的結合は促進されて居る。十數ケの工場はすでに反對派を形成し、また數ケの工場全員は反對派として存在する。青年部は全員反對派に加はる。

三十、こゝで必要となつて來るのは我が同盟員×合法活動への警戒である。同時に我が同盟組織鬪爭の責任ある部署にあるものゝ規律が必要であり、お互が秘密を守ること。



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

これがためには工場内の特殊な研究グループによつて技術上の問題を學ぶこと。特にスパイやダラ幹との闘爭の（×合法活動に對してはダラ幹もスパイは同一の任務を果す）技術を研がくこと。

三十一、我が同盟はまた勞農派に對する闘爭をなさねばならぬ。我々は勞農派に勝利した。だが彼等はより消極的に反抗して來るであらう。

勞農派も亦我が同盟の再組織に對してはスパイの役割を演ずる。現に夫をやつて居る。自主的青年部は××青年同盟の支持を公然とかゝげて戰ひ勞農派の影響の最後の一滴さへも投げ捨てゝしまへ。そして勞農派の飼犬どもを一匹殘らず大衆から放逐してしまへ。

三十二、闘爭する自主的青年部は我が同盟の農村班に對しては全國農民組合青年部への再組織に協力せしめどしどし闘士を派遣してそれを實現に導くべきである。

三十三、我が同盟に對する政府の解散説が傳はつて居る（くそでも喰へ）我が同盟を解散するのは××青年同盟のみである。政府の解散に對しては××青年同盟支持、自主的青年部獨立運動を以て應戰せよ。

三十四、又反動的幹部が我が同盟の闘士に對する除名、我が同盟からの脱退強要を開始した。除名に對しては除名反對の大衆を組織し逆に大衆獲得の一戰術として即時運動を全國化せよ。單に機關での闘爭や部分的な闘爭は絶對に不可ない。分裂を恐れて日和見的過失（取引上の和解や何等かの條件付解決）を犯してはなほいけない。解決は闘爭によつて決せよ。分裂を恐れる所に分裂は來るのだ現在の全國的な形成に於て自主的青年部が××青年同盟に指導され全國の活動を統一するならば反動的幹部と相迫中する勢力である。（勿論反對派も計算して）

また脱退強要に對しては斷じて應ずるな。

『幹部の手前だけ一時のがれに表面だけ脱退したことにしようどうせ非合法的活動に入るのだから』等を考へる者があつたら、それは根本的な過失を犯してゐるのである。この表面だけの幹部の手前だけの我が同盟よりの脱退は我が同盟再組織闘爭の士氣を傷害するのみか、自主的青年部の工場内の組織をいつまでも非公然のいじけたものに造り上げ、從つて我が同盟の再組織さへも破壊するに到る。

如何なる事情あるとも、脱退強要に對しては斷呼として戰へ。それで除名して來た時には、除名反對の全國的實力を以て答へるのみだ。除名は反動的幹部の最・後・の・手段・だ。だが正におそし。

除名の手段はまた反動的幹部が大衆から放逐される手段となつた彼等をして自ら離をなはしめよ。それは力が問題を決定するし、主要なることは、大衆獲得の問題である。

我が同盟の再組織は組合同盟及び大衆黨の反動的指導と組織のあるところ、いたる所の工場、農村に行はれてゐる。然り我々の見透しは確信に充ちてゐる。

自主的青年部確立をたゝかへ。

××的反對派組織に協力せよ。

××青年同盟に×れ。

## 六、行動綱領及び規約

行動綱領及び規約は目下審議中である。

然しこの方針は一日も早く發表しなければならぬ事情に接したで、行動綱領と規約は八月上旬に成立する日本勞働組合同盟全國青年部協議會の發表にゆづることにした、同じくその直前には、同關西青年部協議會準備會が成立する し、七月二十日前後に關東青年部協議會準備會が成立した。

全國青年部協議會から發表される行動綱領及び規約は多分八月中旬であらうと思はれる。

だが各工場方針書を手引にしてどしどし活動に入れる筈だ。同時に關東、關西青年部協議會からも直接指導がある筈だ。

戰備は急を要するのだ。直に工場に自主的青年部の組織にかゝれ。

資料

# 朝鮮社會運動小史（四）

裴成龍

K・K・M譯

全朝鮮青年大會と共に京城に於て民立大學期成會創立會及青年聯合會が開かれた。朝鮮全道を網羅したる各方面代表者五百餘名が中央に集合して朝鮮人の新生運動のために各々意見を吐露し所信を主張した。特に聯合會總會席上にては思想上の衝突が激しく直接行動に訴へて格鬪に迄至つた結果三十餘名の檢束者を出した。之は悉く聯合會の主張を支持せんとする代表と、青年黨大會の決議を支持せんとする代表の思想上の相違に依り現はれたる不詳事件であつた。翌五月には慶尚南道晋州に於て全道の白丁（エタ階級）數千名が集合して、人類の理想である平等社會を實現し、自己の天賦の人權を恢復せんことを目的として衡平社を組織した。之は時代思想に感染し個性に對する自覺が確固されたのに起因するものであるが、已に近隣日本に於て同一なる特殊階級を以て組織したる水平社が出現しその運動が健實に發展しつゝあるばかりでなく其の數ケ月前同奈良縣



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

に於て水平社員對國粹會員の間に一大闘爭が起り死傷者を出したばかりでなく軍隊まで出動したる事實が大々的に宣傳された。

當時朝鮮白丁階級はその宣傳事件により少からざる心理的衝動を起し抗爭的意識を把握せしめるに至つたのは動かすことの出來ない事實で、彼等は永き歷史を通じて一片隣汚したる奴隷道徳的因襲に依り、階級的傳統勢力が强烈である社會の苛酷なる虐待と、差別の下に苦痛を感ずる社會群であつたそれ故に彼等は、彼等自身を解放すべく自ら團結し衡平社を組織したるもので、該會は創立大會に於て、委員張志弼、姜相鎬外二人と理事河允弁外七名が選定され日本に於ける水平運動とほゞ同一なる衡平運動が始るやうになつた。（中略）けれどもこの運動は朝鮮に於ける一部封建的頑固派である兩班（士族）階級の反對と排斥に依りその進展上に種々なる困難が伴つたのはいふまでもない。即ち封建的兩班階級の煽動に依り農民が衡平社員の店より牛肉非買運動を起したこと〻、全羅道農民勞働者對衡平社員の衝突のため放火致傷破家の一大騒動を引き起したことであるが、これにも拘はらず全鮮を通じて四十餘萬の會員が團結するに至ツた該運動こそは朝鮮社會に於ける有史以來始めての現象である。

×

六月に週刊誌『東明』が休刊されると同時に京城に於ては洪増植、具然欽、故趙奎洙、洪命熹、李準泰外十餘名の發起に依り新思想を研究する目的で新思想研究會といふ機關が組織され、その次ぎにはやはり京城に於て二百六十餘名のゴム女工の同盟罷業があり待遇甚だしきにも拘はらず餓死同盟まで作り朝鮮勞働聯盟會外十二勞働團體の同情に依り持久戰を繼續した、けれども結局勞働聯盟會幹部金南洙、李準泰、金鴻爵の三名は治警法違反の嫌疑で檢束され最後の判決言渡まで受けた。

時は丁度日本に於ける日本共產黨事件が發覺し社會主義者の檢擧が始まつた時で日本社會は一時緊張を極め同時に朝鮮に於ける社會運動者に對する注目が頗る嚴酷であるにもかゝはらず在東京思想團體北星會主催社會問題講演團が朝鮮に渡來した、之は北原龍雄、布施辰治兩君と北星會員より組織したるもので之は朝鮮對日本の主義者間における最初の交りであると云つてもよい、この巡回講演團は各地に於て殆ど盛況であつたばかりでなく朝鮮運動のためにまた極めて有益な企てゞあつた、斯くして巡回講演團が京城に戻り盛大なる披露宴會が開かれた時所謂洛陽館事件といふ社會主義者間の衝突事件が起りまた北星會員對ソウル青年會の衝突である所謂長安旅館事件が突然した。

彼の共濟會が兩派に分立以後辛うじて小康を得た社會主義者間の軋轢分裂抗爭はこの事件により一層露骨化するに至り、勞働聯盟會對勞働共濟會の分立事件及び、ソウル青年會對北星會其他の錯綜したる關係により整理されずにゐた運動線の混亂は實に形容することが出來ないほどであつた。それに對する私憤と群衆的抗爭はその運動の歴史的使命を斷絶するはいふまでもなく幾多たる運動者の無用なる犠牲が所々に續發した。（中略）前述の如く斯かる團體と個人の分裂抗爭を引起したのは云ふまでもなく彼の所謂詐欺共産黨事件に關聯したる情實を中心として發生し、あらゆる軋轢がその人物等を根源として岐流したるもので、實に嘆かはしきものである。

×

九月に至ると第一日に東京大震災突起した。二日より前後、階級が、死傷、燃燒の記事を禁止した新聞號外が掲載して撒布され、×××××事件が報道されると全朝鮮には、夫のため泣叫ぶ妻、父のため泣く子、子のため嘆く親等の痛なる事件と、空氣が興奮せる人心に一大刺戟と緊張を與へ、流言蜚語が盛大に流行つた、爲政者側の態度は實に非常の如く緊張した日本に於ては批評家が揃つて民族的感情の××××××を論じ、朝鮮言論紙の論説は相次發禁、或は削除を免れず當時の新聞發行は反つて珍らしいやうな感さへあつたほどである。それはかりでなく當局は凡ゆる社會的團體的の行動を絶對的に不許したのはいふまでもない。朝鮮勞働聯盟會加盟團體及其他十餘團體の發起であつた朝鮮勞働總同盟創立準備會も××××の組織中止を受け其他凡ゆる集會も許されなかつた。

雜誌『新生活』が創刊以後思想取締に對する當局の態度が一變したるは事實であるが、その『新生活』が發行禁止の厄運に遭つた以後に於ては社會主義に對する取締が左程苛酷でなかつたものが、彼の青年徴大世、日本共産黨事件發覺、北星會講演團巡廻、社會運動者の新潮激起したる以後同運動に對する取締りは日本東京地方大震災を一大モメントとして極めて甚だしくなり、捜索、檢擧、投獄等殆ど數へきれざる狀態でそのために社會運動の進展に多大なる障碍を得たのが事實である。（中略）斯ゝる最中にも運動者間には分裂對立が暗中に行はれ、一方に於ては之が隊のあまり戰線統一の確立を期する有志が頻りに會合と聯絡を行つたものであるが、當時その任に當つた東氏が『二三年秋季以後より三四年四月まで餘が交渉し、交渉に應じたる非公式の會合ばかりでも明確ではないがほゞ百八十回に達した』と云つた一事實に依つてもその間の事情が推察出來るであらう。（中略）

×

一時表面上何等の現はれがなかつた社會運動界も一九二四年を迎ふると同時に新しき努力と眞箇鬪爭が惹起するやうになつた。一月に慶州勞働共濟會、馬山勞働同友會、釜山勞働同盟の三團體主催にて慶南社會運動者懇談會が慶州に開かれ、運動の現狀と發展に關する各種討議が行はれ、會は直に南鮮勞働總同盟發起懇談會となり聯合團體組織續々發起する會合に然



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

された。發起團體は六十餘に達し出席に於て創立準備委員を選定し同創立總會は大邱に於て開催することに決定した。

　京城に於ては四十餘團體の主催で全朝鮮勞農大會準備會總會が三日に亘り開催された。その大會招集日を四月五日より三日間に決定し諸種の準備事項を協議したものである。他にまた京城に於ては土曜會（二二年六月創立）と無產青年會（二二年十月創立）の兩無產青年修養團體が合同して新興青年同盟を組織し、三月には大邱鎔器工の罷業、馬山機械職工罷業があり、光州に於ては十九個團體の聯合團體を以て全南青年聯合會と、四十餘團體の參加を以て光州勞農聯盟等が創立した。

　巳に創立を準備中であつた彼の南朝鮮勞農總同盟創立總會は豫定の通り大邱に於て三月九日開催された。加盟團體九十餘出席代表百五十餘名を以て同會が完全に創立され同會決議によるもの、內容擧げれば『京城にある既成團體と組織中止（朝鮮勞農聯盟會を指す）又は組織中にある團體に對して一切の關係を斷絕す』といふが如き意味のものがあつた。これは京城地方の既成團體が前述の通り凡ゆる宗派的に紛糾を重ねてゐるがためその影響のため諸會の組織に分裂を生ずるおそれがあつたゝめ之を豫め防がんとしたものに過ぎないが勞農運動の本質上の使命と性質として見ては云ふまでもなく誤謬があつた、けれども同時の前會的狀態としては之は全鮮的に組織するためにはあまりにも混亂が多過ぎた。そこで總會は運動全線が完全に統一されるまではあくまで南鮮に地分體として活動する豫定の下に方針を進めたのであるが中央部的地位にある各種團體は長文の聲明書を出して南朝鮮勞農總同盟の決議は地域を劃して戰線統一を破亂するものであると議論百出するに至つた。

　以後に於て、兩方の交涉はあまり圓滑ではなかつたが大同團結といふ目標の下に漸次交涉を重ねるに連れ、京城ソウル青年會其他地方青年團體等の累次交涉に依り朝鮮青年團體總聯合體として朝鮮青年同盟を發起するに至つたが、朝鮮青年團體の總聯合機關として自任する朝鮮青年聯合會がその總同盟發起團體となつたのは、彼の青年黨大會以後それ自體の社會的地位が衰微し地方團體の支持熱が微弱なるため豫定の如く總同盟が創立したる曉には聯合會自體は解體するといふ條件を前提としたものである。

　三月十五日在京發起團體會議に於て創立委員會を組織して地方團體を派遣する等創立を熱心に準備努力した。

　當時また京城に於ては國民協會相愛會、小作人相助會、大正親睦會、維民會等十一團體の聯合を以て各派有志聯盟といふ御式團體が官民一致の下に大同團結し、勞資協調を標榜して出現し世人の憤怒を買つた。

　また天安地方に於ては全國衡平社員大會が開かれた。

×

　四月十六日に京城に於て準備中であつた全朝鮮勞農大會が參加團體八十二團體、代表八十餘名の出席に依り開かれ、朝鮮勞農總同盟及朝鮮勞働聯盟會、全朝鮮勞農大會準備會、南朝鮮勞農總同盟機關期成會等の熱心なる交涉と大同團結の精神に依り朝鮮勞農總同盟といふ統一機關を組織するに及び發起會も同創立總會を開くに至つたが參加團體百七十四、總會代數十二萬五千出席代議員數二百四十七名であつた。規約通過五十名執行委員の選舉等各自の意見を充分に討議する時間は無かつたけれども凡ゆる難關を經て豫定順序に依り十九日までに創立大會は終了した、依つて翌二十日は場所を變へて臨時大會を開き勞働問題、小作問題、對東洋拓殖會社問題、對東亞日報問題、對各派有志聯盟問題等諸般事項を討議可決して終會せんとする刹那警察の解散宣告に遭つた。因に大衆の群は不穩の狀態に憤怒して五六百名の一群が×××勞働歌を高唱してデモを敢行して市街に殺到したが三十餘名の檢束者を出し就中二十六名は檢事局に廻附された。

　その翌日二十一日よりは朝鮮青年總同盟創立總會が京城に開かれ加盟團體二百二十四團體、總會員數四萬三千餘、出席代表議員數二百五十一人に及び同盟の綱領と規約は左の通りである。

◇宣言

　我等は階級的大團結を目標として青年運動の統一を圖るため次ぎの綱領に依り朝鮮青年總同盟を組織するものである。

◇綱領

一、大衆本位の××××××を企圖す

二、朝鮮民衆たることを期す

以　上

×

　該青年同盟は連日諸般事項を議案討議し二十三日に至り年齡の制限問題のため大論戰が起りたるため一時休會になつたがこの問題は次年の大會まで保留することになり同大會も豫定の通り終了した。翌二十四日より臨時大會が開かれ凡ゆる事項の議案を討議したるものであるが其の中に異彩を發したるものは異種青年團體を敵對的態度を以て對せずそれ自體をして青年運動の根本的精神を理解せしめやうとする件と、官製青年團體を絕對的に××ぜんとするものである。且つ教育は民衆本位となし、小學校義務教育を實行すると同時に教育用語を朝鮮語となさしめること現行制度は搾取制度として認定しそれを排斥すること、民族運動とは協同戰線を取ること、反動團體を積極的に××すること等であるけれどもこの大會も矢張り例の解散の厄に遭ふ悲境となり一時場內が混亂したけれども年に一人の犧牲者も出さずに解散して了つた。

　以上の二大聯合體は朝鮮の青年



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

團體と勞働團體を網羅したる全國的指導機關であり、分裂と軋轢が斷へない朝鮮の運動界であるがためより一層この團結和睦の有機的發達を望み兼ねてそれに對する社會の期待も大なるものであつたが、この二團體は臨時大會後機械的に行はれる集會禁止の厄を免れず、所期の機能を充分に發揮することが不可能であつた。即ち該二團體は委員會の開催まで意の如く行かなかつたけれども該會の會體が事實として規模が大きく範圍が廣いために該兩會は朝鮮に於ける一大社會的勢力となり、一大權威であつた。（中略）なほ執行部の敏活なる努力により地方との往復通信、交渉、指令訓練等が頻りに行はれ以後朝鮮の無産運動をして劃時代的發展に就かしめたものである。

×

その翌五月京城に於ては階級的意識に立脚せる女子社會運動團體が朱世竹、崔恩三、許貞淑、朴元熙、鄭鍾鳴、鄭鳳熙、丁七星、吳顯德外諸君により組織された。之は朝鮮婦人の社會運動界に於ける最初の集合體としての組織であるだけに明確なる社會運動としての組織でもなく階級意識を把握してゐないのも事實であつた。けれども彼等の運動は民族的××××を以て全民族運動の無限界なる一助長的努力であつた。彼等の主題とする處は舊慣民衆の消纏、男性女卑の因襲桎梏より離れ、またはそれより解脱することに依つて理想的家庭を其の消纏下に於て建設せんとする文化運動範圍よりも離れて階級的團結といふ時代の決定的要求に應ずるものであつた。同會の綱領を示せば

一、本會は社會進化法則に依る××××と女性解放運動に立てる鬪士の訓練と教養を期す

二、本會は朝鮮女性解放運動に參加する女性の團結を期する

以上に依つても同會の目標が那邊にあるかを能く識別することが出來るであらう、けれど同時に朝鮮社會に於ける女性解放運動としては相當に注目すべきものであつたことだけは事實である。

附記——本號からは原文の直譯を避けてなるべく自由に意譯をすることにした原譯者並び讀者に一寸附記しておく。後四回で本稿は終結に至る積りである（譯者）

## 組合同盟の幹部は資本家地主の代理人

大正十五年末ダラ幹の巣窟總同盟を蹴つて××的陣營に結集せんとした時もダラ幹ドモ（總同盟社民と五十歩百歩の現組合同盟幹部は大衆の鬪爭精神を抹殺し抑壓してデッチ上げたのが現組合同盟であり、現日勞黨だつた。われく＼はその當時から彼等とは間斷なく鬪爭して來た。今にして考へれば線香花火程の感激から成立した七黨合同日本大衆黨結成の際も無產大衆黨との合同に反對し、日本農民黨との合同に贊成だなどとぬかして（われく＼から見れば何れおとらぬ民主々義者の集團だが彼等にとつては口先だけの左翼でも都合が惡い〆ソレホドダラカンダ！）全大衆の憤懣と嘲笑のまとになつてしまつた。

組合同盟は七黨合同に反對したが結局日本大衆黨といふ政黨が出來上つたので仕方なく（全く該所の都合で仕方なく）くつついては來たもの丶隙さへあれば右翼ダラ幹の方へ行きたくて仕方がなかつたのであるが、日本大衆黨の分裂將た又暴れ狂ふ白色×××の嵐に恐れて、徹底的に勞働者を詐欺して資本家階級に買收さんとしてゐる。

戰鬪的全國の組合同盟二萬の同志並にわが勞働者の同盟員諸君はこのダラ幹の反動振りに對して階級的メスを以てとゞめをさせ機會ある每に彼等の裏切をバクロしろ！

自主的組合青年部確立の鬪爭を捲き起せ工場に職場に××的組織を蔽ひつくれ！

彼等がわが階級戰線に犯した歷史は悉く裏切の歷史であり、我々は又彼等の正體をよく知つてゐる。就中最近の彼等の反動ぶりを擧げるならば、六月三十日に開かれた組合同盟擴大中央委員會に於て國際勞働會議支持、勞農排擊等を決議した事實がそれだ。

勞働者農民を資本家地主に賣付ける會議、國際勞働會議に對しては利用價値があるとの理由で支持するといふのだ。この事に對しては多言を要しない、結局勞働者農民がどうなつても自分達が洋行して淫賣でも買つたらいゝのだ、

これでは總同盟のダラ幹とどこが違ふのだ、總同盟と分裂してお山の大將をきどつた理由はどこにも見當らないぢやないか、結局するところ、彼等は膨張主義者であるためにやつたとしか見られない麻生と平野が田中内閣から一萬一千圓を取つたが、分け前の不公平からウチワモメをやつて自分自身で分裂の原因をつくつたと同じ事だつたのだ、又これが戰鬪的勞青を排擊し、組合同盟關係の組合なり支部で、勞青の支部又は班を組織してゐる所は、直にそれを解散せよ、さもなき時は斷乎たる處置をとると強迫的決議をしたのだ。

戰鬪的組合員及び勞青員は、今こそ彼等の正體をはつきりと知つたであらう。勞青の××的影響があつては自己の餘命がちゞまることを知つてゐるからかういふ決議をするのだ。

東京帽子長野帽子のストライキを見ろ！ダラ幹の指導をケトバシて勞青と戰鬪的爭議團との共同鬪爭によつて見事勝利したではないか。既に戰ふもの丶みが信頼を得るのだ。だから、組合同盟は勞青に對する勞働者の支持の強まり行くを見て、あはてふためいて、警察へ取締方を御願ひしたのだ。これには全く資本家地主と何處が違ふのだ。こんな奴が無産階級の味方らしい顏をしてゐる。糞でもひつかけて了へ、馬鹿野郎。國際勞働會議絶對反對反動幹部の勞青排擊を戰鬪的組合員と協力して敗ちらせ！（勞青ニュースより）



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

八月一日ロシヤ、ウラジオにおいて開かれる第二回汎太平洋労働組合大會は、太平洋沿岸諸國の××的労働者の代表によつて、東洋を中心にして爆發しようとしてゐる戦爭の危機に對する共同闘爭、支那××の××、太平洋沿岸の殖民地の××、人種的民族的偏見の打破による階級としての統一世界の労働組合統一と單一の統一労働組合インターナショナルの創建のために戦ふ事が新しく討議され汎太平洋労働組合會議の首唱者であるオーストラリヤ労働組合によつて投げられた『皮膚の色彩でなく階級だ』『人種でなく階級だ』『皮膚や人種や、國籍の別なく階級闘爭だ』のスローガンの下に、支那、××、印度、××オーストラリヤ、ハワイ、××、インドネシヤ、佛領印度支那、フイリツピン、ニユージランド、サヴエート同盟、ラテン、アメリカ、合衆國、フランス、イギリス等の同志達が固き握手を交すのである。

殊に、東支鐵道問題にからまつて、ソヴエート、ロシアに對する帝國主義列強の手先、支那國民政府の挑戦による戦爭の危機に直面して、汎太平洋労働會議の開催はまさに意義ある決定的な闘爭の具體的方策を準備し得るであらう

汎太平洋労働會議は、ゼネバの國際労働會議や、東洋労働會議の様に、資本家と同船しての大名旅行と妥協では全然ない。白色××はこの會議への代表者に對して威脅しつゝある。見よ、一九二七年、五月漢口で開かれた第一回汎太平洋會議には、××の代表者達は二十二名中十四名は出發前逮捕され、インド、ネシヤの代表者たちは、爭議のために捕縛され死刑の宣告をもつて脅かされ、又、インド、オーストラリヤの代表は出國を拒否されて大會に出席出來なかつた。同じ日本の労働者の代表でも鈴文や米窪とは大きな相違だ。

だが、日本の労働者は旅費を寄附して、第二回大會に代表を送つたのだ。東洋に於ける帝國主義の支柱××の労働者は、植民地の兄弟と同一の利害關係にたつてゐる。資本主義の産業合理化政策は本國と云はず植民地といはず荒れ狂ひ、生活條件は極度に劣悪化しつゝある。

かゝる労働階級の搾取による利潤の一部によつて買収された社會民主々義は、労働階級のための闘爭ではなく、労資協調のためのかけ引きの舞臺である、東洋労働會議、國際労働會議において、労働者を偽瞞し、帝國主義戦爭の×食に供しようとしてゐる。

何事も資本家まかせ、資本家萬歳、これが彼等の正體である。東洋労働會議も、戦爭準備のための資本家の代理人の仕事としてふさはしきものではないか。だが、われわれは一切の社會民主々義を打破しなければならぬ。大平洋沿岸の××的労働者の使命は重大である。

**東洋労働會議、國際労働會議否認、第二回汎大平洋労働會議萬歳**

### 八月の歴史

一日、友愛會創立（大、元）
山川均氏の方向轉換論發表（大、十一）
三日、米騷動勃發（大、七）
四日、日立鑛山罷業（大、八）
パリー革命（一九二七）
五日、エンゲルス死す（一八八五）
十一日、神戸三菱川崎の大爭議慘敗、常山俊一警官に××され闘爭、數百名檢擧（大、十）
十二日、ロンドン、ドック大ストライキ起る（一八八八）
十三日、アウグスト・ベーベル死す（一九一三）
二十二日、サツコ、ヴアンゼツチ、ボストンにて死刑さる（一九二七）
廿八日、穢多非人解放令出づ（明、四）
二十九日、日韓併合（明、四三）
三十日、岡谷山一の爭議起る（昭二）



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

## 東京帽子、長郷製帽兩爭議に現れた
# 社會民主主義者の裏切り

廣瀨 賀

暴壓に續いて暴壓の嵐の吹きまくる眞只中に身を以て護り眞實に勞働者農民の解放のために血みどろの鬪爭を敢行して常に階級鬪爭の最尖端に立つて戰われて居る階級的戰線のある反面には常に資本家や其の手先たる官憲と結合して勞働者農民の利益を蹂躙しつゝある社會民主主義者の裏切が續出しつゝある時東京帽子長郷製帽兩爭議に於てもそれが臆面もなく平然として行われたのだ。

從來組合同盟及關東合同の社會民主主義的幹部のなしたる爭議に於て一つとして階級的なストライキをやつた事があるか、斷じて否だ。紡績産業部門に澎湃なる組織をもつ組合同盟が過ぐる東京モス吾嬬工場の大ストライキの時の爭議應援委員會の裏切りを見よ、紡績産業の深夜業廢止による賃金低下過酷なる勞働の强請等の勞働條件の劣惡化に憤然立つた東京モスの自然發生的なストライキを單に一工場のみのストライキに極限してしまつて組合同盟の戰線下にある日本紡績勞働組合の組織勞働者をして意識的計畫的政治的ゼネストへと鬪爭を誘導する事をせず（彼等は五分間の同情ゼネストさへもしなかつた）彼等社會民主主義者の自然發生的理論は帝國主義社會の客觀的情勢を無視する事が出來ず、從つて續々と勃發するストライキを單に一工場のみの自然發生的ストライキに極限して經濟鬪爭主義に追ひ込んで、經濟的ストライキを政治的ストライキに入る爲めの一つの訓練とする事をしないで、ひたすら組合主義合法主義の枠内にひがみついてゐるのだ。

今日までに於ける社會民主主義幹部の數々の裏切りを斷然はねのけて帽子工爭議を意識的計畫的に進めた所に中間派的存在としての組合同盟關東合同の大衆の實踐的な飛躍的發展がある。

この爭議を起すにあたつて東京地方に於ける帽子産業のゼネストを計畫して東京帽子の同一資本系統たる小石川工場に大膽に執拗にアジビラの持ち込みやアジ演說に宣傳活動を敢行したが總同盟の右翼社會民主々義者に『手なづけられ』て了つた小石川工場の從業員は唯恐怖するのみで遂に最後まで立たなかつた。

もつとも小石川工場の資本家が社會民衆黨の黨員であつた理由もある。

斯の如き總同盟ダラ幹の裏切りの爲めに爭議の延長となつたのみならず鬪爭過程に大きな障害とまでなつた。

爭議勃發の當初官憲の壓迫を受け指導者が檢束を喰らつた間際に乘じて關東合同の典型的なダラ幹は向島警察に行つて何と云つたか？『常に檢束者を釋放の抗議をする事をせず『此の爭議は關東合同の本部と何等の關係がないから』と前おきしてウント彈壓してくれと云はぬばかりに×共に忠義立をしたのだ。

それのみに止まらず爭議團へ來て今の指導者のやつて居る事は極左翼にガブレタ小兒病に罹つた連中がやつてゐるので何をやるか解つたものでない今日の東京帽子の支部長が本部員の所へ泣きついて來たのだから君らも長郷爭議團本部へ早く泣きついて來いと、事實無根のデマを飛ばして指導者を失つて不安と焦燥とにかられて居る爭議團に大きな動搖を與へたのだ。

尙關東合同の執行委員會にはオン大、岡月を初めとして奴らはこう云つた。

『爭議を起すに當つて本部へ一片の通告すらしないで本部の爭議統制權を蹂躙して支部が勝手にやつた爭議には積極的應援は出來ない、まして青年同盟が一部指導の任に當つて居るに於ては尙更出來ない本部の指導權を與へるなら應援もするがさもなくば不可能だ、若し本部が此の爭議を應援して敗北を來したら、本部の名折れになる』と何と氣狂ひじみた事をぬかして居るではないか、奴らのやつた爭議に勝つた爭議があるか、勝敗の如何を問はずとも階級的に鬪爭し訓練した爭議が一つでもあるか斷じて否だ。

評議會のビラに本部の人間の氏名が載つて居ないと言つてはつまらない部分をぬかして爭議應援を徹底的にサボり併進んで意識的に第六區聯合會を官憲の手を通じて破壞せんとまで陰謀を廻らしたのだ。

第六區聯合會は刷新派の急先鋒であり勞働者を主體として左翼進出の貯水池である組合同盟民主々義幹部の恐怖と抑壓は第六區聯合會に集中されて居る。

見ろ！

關東合同にはかつてない階級的鬪爭振りを非常檢束の抗議を檢事局へ三十人のデモを斷行したのだ評議會の中止檢束の彈壓に屈せざるデモの續行、打ち續く指導者と戰鬪的鬪士の檢束拘留。

小石川工場へ戰鬪的鬪士二〇〇名の一大デモの敢行等には恐れ果てた合法主義の形態から脫して大衆の戰鬪的進出を物語るものである小石川工場への一大示威運動に血迷つた官憲は爭議團を總檢束して一擧に爭議團を叩き潰さうとしたが反つて大衆の憤激を增すのみであつた。

斯くする中に栗原紡績の爭議が起り、醋酸工場の從業員の動員が初まりサボタージュの鬪爭が



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

起り青木染工場にも波及し、東洋モス東京モス評定工場、龜戸工場等々と次から次へと江東一帯に亘る一大ゼネストの情勢が現はれ初めたが社會民主々義幹部の恐怖と裏切りとに依つて遂に立つ機會を失つてしまつた、長郷帽子爭議團は悪戰苦闘を續けること二十日東京帽子爭議團は二十五日間戰つて遂に勝利した、關東爭議の檢束拘留の延人員百八十人に達した關東支部とも組織されてより爭議に入るまで二ケ月乃至三ケ月の短期間の訓練に依つてこれだけの階級的爭議を斷行した事は何といつても我々の大きな收穫である。

『我々は此の爭議を通じて民主々義なるものゝ本質を實踐的に知得し江東一般の怒りを如何にして止めるかを知つたのである。

組合同盟内に巣喰ふ一連の社會民主々義者は大衆が理論的にも實踐的にも階級的に進出しつゝある時官憲の彈壓におそれて右翼と野合せんと策動してゐる、其の一つの現はれは過日の組合同盟拡大中央委員會で國際勞働組合會議支持を決議した、奴らの此のダラク振りを見よ。

此のダラ幹の誤謬に今や全國の戰鬪的組合は一齊に國際勞働組合會議を否認してゐる。

斯くの如き情勢を見ても過渡的現象として中間派的存在の無意識なる事を立證する事が出來る、結局に於ては民主々義幹部は自己の裏切を合理化してイチマツの大衆をひきいて右翼へ逃避するであらう事は一點の疑ひを入れぬ程確である、大衆は自己の經濟的窮迫と政治的抑壓に益々尖鋭化しつゝ進出するそして中間派的存在の沒落は不可避的必然である。

××支那を繞る帝國主義國家間の對立鬪爭と我らの××ソヴエートロシアと資本主義との鬪爭は辣々と迫りつゝある、今や東支鐵道の武力的紛爭の鬪爭は來るべき帝國主義××の具體的條件を作つたのである。

帝國主義の危機は階級鬪爭を尖鋭化しプロレタリアの陣營は戰爭に反對するものとせざるものとの二つの異つた陣營に分離結合して尖鋭化するであらう。

斯かる客觀的情勢の進行は中間派的存在の社會的根據をますます稀薄へと導きつゝある唯一の理由である。

裏切者社會民主々義者と戰へ！

帝國主義××絶對反對だ！

# 地主王國の居久根裁判

## ——小作人の屋敷に植えた樹木は誰れのものか——

布施辰治

一

地主王國越後新潟地方裁判所管内の判決が今や、恐く地主保護と云ふよりも、一歩を進めた、地主屈從の一から十まで地主の申出に唯れ命、唯れ從ふの實狀眞に驚くべきものあることを世論は何んと見るだらう。

私が、斯く本論を引き出しても識者はマサカと言ふだらう。如何に地主王國越後新潟地方裁判所管内の判決だとて、地主の申出でに唯れ命、唯れ從ふような判決をする譯がないと思ふだらう。

未だ裁判所と云ふものゝ階級的正體を見究めないすべての人達がそう思ふほど裁判所と云ふものが所謂正義の府として、是非黒白の判斷所として、正しいものは正しい、黒いものは黒い、白いものは白いと云ふ判斷をして呉れるものであつたら、斷然地主の申出の取上げらるべき筈のものでは無い。

そして、小作人の抗辯の又斷然排斥せらるべき筈のものでは無い小作爭議關係事件に對して言渡した最近の判決に、一讀、再讀、誰れが讀んでも讀み違ひのない地主の申出を御無理御尤もで、一から十まで唯れ命、唯れ從ふで取上げた——眞に驚くべきものゝあつたことを驚かずには居られまい。

私は、左にその一例として前述強慾な地主が小作人の屋敷地内に植付けた樹木を奪ひ取らんがために『樹木伐採禁止』といふ轉跡みの訴訟を起したのに對する新發田區裁判所の一判決を掲示し、地主の本訴に認められた意圖と、之を迎へ容れた判決の如何に地主王國の支配に服從したものであるかの眞相を指摘しよう。

二

判決に摘示せられた地主の主張は

『北蒲原郡安田村大字鶴水新字龍下千八百三十四番地山林一反一畝四歩の土地を所有し竹林として使用收益する目的を以て被告に賃貸し置くも其の他の立木は原告所有にして賃貸の目的物とせざるに被告は自己の所有の如く誤信し立木全部即ち杉二十七本銀杏一本を伐採せんとするが故に其の禁止を求むるため本訴に及びたり』

と云ふので、既に係爭樹木の存在して居る土地が自分の所有だから其の土地の上に存在して居る樹木も自分の所有だと云ふ以外に、當該樹木所有權取得の事實を主張しては居ないのである。然も、所謂伐採禁止の判決を受けて置かなければならないと云ふ訴訟提起の理由は、小作人たる被告が、自分の所有なりと誤信して之を濫伐採する危險があるからだ、と云ふ事に因つて居るが、地主の本訴にひそめられた意圖こそは——小作人の植付けた地上の樹木を小作人の所有なりと信ずることに不思議の無い——小作人の樹木を收奪せんとするにあるのである。さうした地主の意圖をまざ／＼とさせて居る

ものは本訴提起の経過である。夫れは、如何に図々しい地主でも、真向から小作人の植付けた樹木が地主のものだとは、さうまで白々しく言ひ出せないと云ふて、間遠強慾な地主は自分の所有地上に七八十年も生立生長して相当の値打ある樹木を小作人に買取伐採せられるのが欲しくてならない、と云ふ所に発案せられたものが樹木伐採禁止の仮処分であつた。

然るに、裁判所は小作人の意見を徴するでも無い暗打の決定を以て、地主がどうして其の樹木の所有権を取得したと云ふ――自ら植付けたのか――買ひ取つたのか――それとも自分の所有地に自然に生長したのか――の疎明をも求めず一も二もなく地主の申出通りに之を許可したから堪らない。裁判所の乗ずるに易い地主王国支配の屈従を観取した地主は、直に前記の如き本訴を提起して、樹木収奪の一歩前進を企てたのである。

三

次ぎに同判決の摘示に要約せられた小作人の本訴答弁は

『本件土地が原告の所有にして被告は現に之を使用し居る事実並其の地上は原告主張の如き立木の存在することは之を認む然とも本件土地は以前被告の所有なりし所芋川某に賣却し今日より百五十年前被告は之に竹木を所有する権利即ち現今の地上権を得其の権利に基き本件立木を植栽したるものにして其樹齢も七、八十年以上に達し被告の所有なり依て原告の本訴請求に應ずる義務なし』

と抗弁し、更に地主に、何時如何にして樹木の所有権を取得したと言ふのか――自ら植付けたのか――誰れからか買取つたのか――夫れとも法律上の付合取得を主張するのかと詰問しても、其の詰問の一項をも疎明せず、只単に土地が地主の所有だから樹木も地主の所有だと云ふのみで、夫れ以上の樹木所有権取得事実を答弁し得ず、地主の勝手に作つた水入證なるものを提出したのであつた。

之れで、地主の申立てが其のまゝ裁判所の選へ容れる所となり、小作人が百五十年前から小作して居る土地へ七、八十年前に植付けた屋敷周囲の樹木を地主が収奪する事を許可せられるとしたら、之れこそは裁判所の武断を利用する合法的の強奪で無くて何んだ、と云ひたい。處で裁判所は以上の如き地主対小作人の居久根争議を何んと判決したか……

曰く『本件土地が原告の所有にして被告は之を使用収益し居ること並其地上に原告主張の如き杉及銀杏の生立することは被告の争はざる所なり、而して被告は本件土地は百五十年以前被告家より芋川某に賣却したるも被告は其土地に付竹木を所有する権利を得之に基き本件立木を植栽したるものなれば被告の所有なりと抗争すれども之を認むべき證據なし、然らば立木の所有権は通常土地の所有権者に属するものと認むるが、社会一般の通念なるのみならず既に成立したりと認むべき甲第一號證に『右林樹木敗地入付米相除被下候上は諸木又は枝葉たりとも伐採不致候』と記載あり是に由て之を観れば本件係争立木が原告の所有に属するものと認むるに十分なり、仍て原告の本訴請求を正當と認め……』

と判決し、小作人が現に其の樹木存在地上に使用権を有して居る事は被告小作人の争はない原告地主の主張する所であり、然も被告小作人の百五十年前から借地使用して居ると云ふ抗弁には不明と答へて其の借地関係を争はざる限り其の使用権に基いて植栽せられたものと見るのが一般の社会通念であらうことを無視して居るのだから驚かざるを得ない、何故なら、他人に貸してある土地に地主が踏込んで行つて樹木を植栽するなどと云ふことのあらう筈も無いが、竹木所有の為めに借地して居るものが其の借地権の行使として、樹木を植栽したものと認められる事は苟くも現に其の土地の借地権を有する小作人當然の使用者保護であらう、さればこそ民法第百八十八條に占有者の『占有物の上に行使する権利は之を適法に有するものと推定す』と規定して、現實の土地使用者は目に見えない形式の所有者よりも保護せらるべき事に鑑つて居るのである。と同時に、左様した占有者の保護は當然の小作人の保護でもあらねばならないのである、だから同第二百四十二條は『不動産の所有者は其の不動産の従として之に附合したる所有物を取得す但し権原に依りて其物を附属せしめたる他人の権利を妨げず』と規定して、他人の土地に植付けたものでも借地権に基く使用収益の為めに植栽したものは断じて土地所有権に付合収奪せられないと云ふ事を明言して居るのである。

だから斯ふした當然の所有者対使用者、地主対小作人間の樹木所有帰属に関する居久根争議の決定は一般の社会通念から観た小作人の植た樹木が小作人の所有である事の勿論さは素より、之を法律的に見ても借地権者の植栽した樹木は断じて所有者の所有に帰属すべきものでは無いのである、にも拘はらず、左様した一般の社会通念を無視して地主王国支配の社会通念なるものを別誂へとし、更に法律上の占有者使用者保護を破壊してまで地主の土地に存在するものは何でもかでも地主のものであつて、地主が小作人の生活から生命までも支配し得るものゝ如くに判決した裁判所の態度は、不知不識の間に矢張り地主王国の支配を受けたもので、地主の申出でに、離れ命離れ従ふたものでは無からうか。のみならず、判決に摘示せられた地主と小作人の主張が、時に地主の主張は都合の好いように偏められ、小作人の答弁が都合悪く歪められて居る事を発見する不徹に迷はせられる場合のある事を附記する。



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

# コミンテルン第六回世界會議の歴史的成果（二）

ブハーリン

伊藤鋭太郎譯

## 第五章

### ソビエツト、ユニオン、ソビエツト・ユニオン××黨内の反對派と國際的トロツキズム的グループの問題

ソビエツト・ユニオンと、ソビエツト・ユニオン××黨との問題が、特別な問題として日程に上された。ソビエツト・ユニオン××及びソビエツト・ユニオンは吾國におけるプロレタリア××の發展における出來事の並に、トロツキズム的反對派に對する吾々の闘爭の成果の、研究の觀點から示された。トロツキズム反對派に對するかゝる闘爭は、他國の全系列における同様的イデオロギイの流れに對する闘爭を伴つた、即ち、獨逸、フランス及びイタリーにおいて。トロツキストに同情するグループ、ボルデイガスは、次の如きことを斷議した所の聲明書を撒き散らした、曰く、コミンテルン第六回會議は、レオントロツキイを議長に選出すべきだ、コミンテルン第六回會議は、ソビエツト・ユニオン×××第十五回大會の決議を一切を、コミンテルンから除去すべきだ、と。かゝる提言が會議によつてもどの委員會によつても問題とされなかつたことは、勿論である。

會議は、第十五回黨大會の決議を稀なる一致さを以て確認し、且つ、コミンテルンの重要なる部會の名に於ける聲明の系列は、更に特に、ソビエツト・ユニオン×××との吾國の英雄的勞働者との驚き永續性を確證した。

反對派的グループの一系列は—サプロノフ一派、トロツキストフランスのズザンネ・グループ、獨逸のマスロフ・グループ等に—し、會議に對して抗告的聲明を發表した。若干の同志は、訊ねる。反對派は復歸するだらうか？と。彼等は絶對に復歸しないだらう。確に、彼等の文句は從來の文句よりもやさしく、穏かな形で書かれてゐる（之の人々には、明かにする事を學んだのだ）。だが、彼等は此のおだやかな形の中でも亦、從來と同じ問題を繰返し、從來と同じ決議を繰返して來てゐるのである。或る人々は、トロツキズム的グループが、吾々の綱領草案に對する對應物として自分の企圖を發表したことを指摘してゐる。私は之に對して言はなければならぬ。吾々には、吾々の綱領草案に對して撒き散らかされつゝある所の批判的所言の中に、何等實際的なもの、又は、脈絡なものあるを見ず、と。トロツキズム的宣言の中には、常に同一物が繰返されてゐる。トロツキズム的反對の中には、一國に於ける社會主義の建設について及び、英—露委員會と支那とについて、彼等が既に從來幾度も書いたことが又繰返されてゐるに過ぎない。

トロツキイの他の文書が結論したことについて、私はかういふことが出來る。そこには、トロツキイによつて、中央委員會の委員全體といふ見地が代表されてゐる、と。そして然も、此のトロツキイによる中央委員會の委員全體なるものこそは、穀物買上に關するでたらめな方策を力說するものであり、殆んどが十月××を裏切つたものだ。

私は、會議が如何にしてかゝる人々に反對されたかを、決議の中から本當に知つてゐる。會議は從路についての何等の足跡も認められず、又他に適當な根據も一分も認められぬ所の一切のかゝる抗告を斷然拒絶した。吾々はかゝる樣式において、長い間、明かに抗告者を失つてきた、今や會議は、彼等が抗告しうる所の裁判所である。私は、だが次の如く云はなければならぬ、吾々は此の人々を失ひはしたが、そのために吾々は七個の新なる×××を、第一番に歐米×××を獲得した、と。吾々はかやうな交換が目的に適つたものであることを信じてゐる。

同志諸君！吾々の會議、及び此の會議が採用した決議及び、第一番に綱領は、吾々の生長せる努力の證據である。一切の外歐洲諸國家及び數多の植民地プロレタリアートの代表者の出席による新綱の申込みは、吾々の運動の偉大なる强さを示すものである。吾々はたゞに歐洲のみに努力ではなく、たゞに歐米のみの勢力ではない。吾々は今や既に、一の世界勢力にまでなつた。吾々の××主義的組織は、勞働者の最高なる國際的共同體となつた。

帝國主義戰爭の最初の時期の經



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

物として、吾々は、卓越せる政治的組織、コムニスト・インタアナショナルを持ち。且つ非常に強力なる勞働者××の國家、ソビエット・ユニオンを持つた。プロレタリアは、最近その十週年記念日を迎へた。コムニスト・インタアナショナルは、來年即ち一九二九年に於いて、、その生誕の十週年を迎へるのである。だが、吾々の總歴史において、それこそは、コムニストインタアナショナルの綱領が第六回會議において採用せられたよりも、より嚴肅なる日の一つである。エイアドル又は獨逸から支那又は南米からのすべての代表者は、次のやうな等しい感激をもつてゐる、今や、吾々は一致せる努力の中に、共通の意志の中に、思想の統一的組織の中に、プロレタリアートの精力的な、忠誠な鬪爭者の幾百萬人を結集する程にまで生長したと。

吾々は、今や、吾々の會議の決議を實行し、且つ、吾々の綱領、吾々の旗、及び吾々の政綱を大衆の中に打ち立てなければならぬ。

吾々は、吾々を困難なる途に當面せしむる危險を眼前に見てゐる。吾々は、だが『萬國のプロレタリアートよ、團結せよ！』とのパロールをもつ所の綱領草案を確保してゐる。吾々は、今や、かゝる大衆を獲得するために、彼等を吾々の旗の下に、社會民主々義と帝國主義とに抗する決定的鬪爭に結集するために、大衆と共同して決定的勝利に到達するために、以上の如きパロールをもつて明確な思想をもつて、決定的な意識をもつて、大衆の中に吾々の任務を遂行するであらう。

# 東支鐵道問題

蔣介石を主班にする支那ブルヂョア政府に完全な服從を誓つた張學良は、ブルヂョア政府の一員としての地位を約束され、作霖以來の封建的軍閥てふ衣裳を捻りかへるのに成功した。そして、張作相や其他馬賊あがりの舊軍閥首領を免職しその首を中央への土産物にする位の心得だつた。だが、支那ブルヂョア政府はそんな事位では承知しない。今、武力を以て張學良を滿洲から追ひ出し得ない事情が存在するので、蔣介石一味は東支鐵道の實權を中央政府に回收する事により滿洲に於ける百パーセントの支配を實現すべく計畫した。それはソヴエットロシアが、東方の勞農兄弟に送る支援の路を切斷せんとする支那ブルヂョアジーの鬪爭の直接的表現である點に於て、滿洲軍閥は其の沒落過程を過程する事を認識しつゝ且つ避け得られぬのであつた。しかも、東支鐵道は、支那ブルヂョアジーのみの問題として回收されたのではない。回收といふ現象の新聞紙的報導は、この問題の生起したモメントの解說にしか過ぎない。

では何が眞實のすがたなのか。列國帝國主義の最後的演武場は云ふまでもなく支那である。のみならず、刻々に増大し行く資本主義の矛盾を緩和するために今や國際市場の獲得と、資本輸出の優先權及至優越性の確保に必死である。南滿に占據する日本ブルヂョアジーは、滿鐵の合理化を斷行して其の手を北滿に伸ばさうと焦慮し、米國ブルヂョアジーは、ワシントン會議による門戸開放の原則の下に、滿洲への資本輸出を企圖し事毎に日本ブルヂョアジーに壓迫を加へる。佛國は大戰後の財政恢復策が成功して既に戰前の投資國たる面目に立ち歸つたし、英國ブルヂョアジーは、ランカシアの紡績會社をトラスト化す等、獲物をめぐる猛獸の爪は益々とぎすまされてゐる。そして、張學良から强もてのしてゐる日本は、滿洲の鐵道敷設の失敗を償ふべく北滿にその野心を遂げるため、張學良を利用しやうとし蔣介石を援助する米國ブルヂョアジーは、資本の缺乏に惱む支那ブルヂョアジーと結合し、統一政策、國權回收策の美名にかくれて豺狼の慾をほしいまゝにしやうとする。

佛國は、東支鐵道に存する債權六億リーブルが、露支の共同管理で至極危險を感じてゐるし更に東支鐵道からロシアが手を引けば資本の輸出が可能となると考へて來た。背なしの英國勞働黨政府は勇敢に露骨にこの獲物にかぢりつく元氣がないので一寸北滿の事件には傍觀者となつただけだ。

そこで、相手は、帝國主義者の目の敵で、所謂不倶戴天の仇のソヴエット・ロシアだ。一石二鳥でこんなあつらへ向な夢はない。

滿洲軍閥支那ブルジョアジーと其政府、日、米、佛の帝國主義者共、皆それ〲が、その必然的發展の方向に向つて、また獲物の獨占、利用の極限的等々を期待して一齊に――反撥し或は結合しつゝ――ソヴエット、ロシアに飛びかゝつたのだ。

たが、帝國主義者共は、早速に大なる矛盾を感じた。東支鐵道の武力回收は、支那に存する既得の特權が否定される日を豫定する事になるしブルヂョア社會の基礎たる所有權を否定するからである。然し、それにも拘はらず、列國の帝國主義共はロシアを支那から放逐したと云つて歡迎してゐるのだそれ所か、露支戰爭を口に挑しながら心には願つてゐたのである。

在支那關係株は暴騰すると、ソヴエットロシアの强化に恐怖する資本家地主は狂喜して露支戰爭を歡迎した。これは日本ブルジョアジーに於て、最も然りとする。『滿蒙危險』『國境不安』の宣傳は何のためか、參謀本部が、武裝せざる支那兵の滿蒙輸送を許す件は、恐らく武裝せるの誤傳でもあらう。

ロシアは帝制時代の特權放棄を既に既に聲明してゐる。東支鐵道も支那との共同管理で、主として技術方面を擔任してゐるそれも、露支協定によれば五十年後には無償還附するし、それ以前でも支那に回收の意があれば何時たりとも相談に應ずるのである、だがソヴエット・ロシアは、支那が、ブルヂョア國家である限り、その非侵略的非帝國主義的な東支鐵道の共同管理權を讓渡すべきではない、



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 英國勞働黨内閣は勞働者の味方か

（アルベル・トーマをもふくめて）

今度新に英國勞働黨が内閣を組織し軍縮會議の開催、八時間勞働條約の批准、對露國交恢復、等を標榜してゐる。『ボールドウイン内閣、田中内閣よりは勞働者にとつて利益になる内閣だ』との意見が弘まつてると聞いてゐる。果してそうであらうか。勞働黨は吾々勞働者の味方であらうかそれを知るには先づ過去に於ける勞働黨の行動を知らねばならぬ。

×

歐洲大戰の結果はブルジョアジーに利益を齎し勞働者階級には唯一層の苦しい味を與へたに過ぎなかつた。それ故に、此の戰爭を援助したものは吾々の敵であつて資本家の味方である。

勞働黨はどつちであつたか。英國が大戰に參加せんとした時勞働組合評議會のダラ幹勞働黨員は戰爭反對を叫んだ。どう叫んだか戰爭はブルヂョア經濟を破壞する從つて勞働者に禍を與へるから反對だと。即ち資本主義制度を安全ならしめる爲めに反對したのであつて戰爭が勞働者階級を犠牲にして資本家の私腹を肥すためのものであるから反對したのではない。

だが、英國ブルヂョアジーが彼等の忠告を排して戰爭を開始した時に彼らは戰爭を支持した。一九一四年八月下旬『募兵』が開始された時、勞働黨の全國執行委員會は英國陸海軍の募兵運動に參加し加盟團體は之に援助を與へむ事を決議し、ヘンダースンは議會募兵委員會の議長となり又黨より二名の委員を選出した。かくて勞働黨は戰爭の積極的支持を始めた。此は何を意味するか。戰爭に負けたら英國々家はつぶれる勞働者は戰爭に參加して國家を救へブルヂョアジーの利益の爲めに戰場で死ねと勞働者に命令したのと同じである

かくの如き愛國主義を鼓吹し吾々勞働 を國家に供したのは單に英國勞働黨のみでなく、第二インターナショナルの社會民主々義者共（アルベル・トーマをもふくめて）の資本家番犬化に外ならなかつた。

だが勞働黨幹部は他面『勞働者階級の經濟的利益擁護の爲めにたゝかふ』と決議した、如何に利益を擁護したか、八月二十四日勞働黨執行委員會勞働組合總同盟會議委員會及び勞働組合總聯合管理委員會の協議會は『現在の總ての勞働爭議を終結させる爲めに即時に適當の處置をとり且つ戰爭中に爭議が起つた場合は同盟罷業又は工場閉鎖に訴へる前に總ての當事者は極力友誼的解決方法を講ずべき事』を決議したのだ。即ち戰爭は始まつたのだから國内で勞働者が賃金値下反對等の正當なる要求で反抗して資本家を困らせてはいけない、勞働者は資本家と協力して戰爭に參加すべきであるからストライキは中止しろといふのだ、かくて當時起つてゐた××的ストライキをブルジョアと一緒になつてふみにじつた。彼奴等は吾々の兄弟英國プロレタリアートが戰爭に名を藉つて行はれた生活條件低下に反對して鬪爭したのに對し『資本家に向つて『ストライキが起つたら『協同』なんかして勞働者の反抗心を高めてはいけない、勞働者の反抗は私の方でうまく丸めるから』と忠告し、その方法として仲裁々判を持出したのである。かくて彼らは『産業上の休戰條約』を作り勞働者を壓迫し賃金をドげ勞働時間を延長しブルヂョアを守つた。此が即ち彼らの云ふ『勞働者の經濟擁護』の正體であつた。

勿論資本家は此れを喜んだ。彼らは此ら裏切者を利用して勞働者を壓迫する爲に指導者を政府に引入れた、即ち一九一五年勞働黨の黨總裁ヘンダースンは文部大臣となり一九一六年十二月ロイド・ジョージの軍事内閣にヘンダースンは無任所大臣に、バーンズは年金大臣といふ報酬をブルヂョアジーから貰つた。

此の内閣は何をやつたか。第一にストライキをやる者を處罰する『軍需法』を制定した。然し何ら搾取壓迫は苦しむ勞働者は益々×化し遂に産業上の休戰條約を結んでゐる組合指導者をハネトバして工場委員會を作り下からの鬪爭に燃え上がつた此の勢ひに驚いた政府は一九一八年ホイトリー（勞資合同産業組合）を作り勞資仲裁機關とした、此はどんなものか、政府は勞働爭議は此機關で解決せねばならぬ。此機關は團體交渉しか認めないと云つた。然し彼等の云ふ團體とは既存の勞働組合であり資本家側の團體は既存雇主團體である、だから勞働者はどうしても御用組合に入らねばならず組合はブルヂョアジーと産業上の休戰を約束して入閣してゐるヘンダースン達の指導するものである、以上を見た丈けで勞働黨の首領達――總評議會の幹部達が如何にブルヂョアと手を結んで勞働者を壓迫したか判るであらう。

大戰は終つた。戰爭に依つて生活狀態を極度に低下せしめられて來た勞働者の憤激は爆發しストライキの波は高まりダラ幹及びブルヂョアジーを驚駭せしめた一九一九年炭坑のストライキが起こつた時政府は炭業委員會を作り加ふるに國家權力（軍隊、警察）を動員しストライキを僅か六日間でもみつぶし産業委員會で勞働者の要求を抑付け屈服させやうとした。だ



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

が此の委員会は結局ウヤムヤに終り、労働者は坑夫組合を認めずに労働者の武器であるストライキを解散し、ノックストでは十八日間に亘る闘争の後、終に完全なる勝利を得た。此を見ても如何にブルヂョア政府の作つた仲裁機関は労働者の利益にならないかが分るではないか。一九二一年ブルヂョア政府は益々反動化し、緊急権限法（産業争議を処理する為に臨時な権限を政府に与へる法）を作り上げた。想起せよ！此の政府の中には労働党幹部が入つてゐた事を。再び一九二六年の炭坑争議を見よう。英露労働者の国際的関係機関たる英露委員会は此の争議で最も右翼が英国組合側のダラ幹即ち労働党幹部達は炭坑労働者達がロシア労働者の闘争心に感激され『赤化』（労働者の利益のために闘ふ事）されるのを恐れて此委員会をブチコハさんとした。かくて、ロシアの兄弟の熱援救命さへも拒絶し、更に英国××党少数派運動の共同闘争の申込を拒絶した。此らは皆彼等の勢力が英国労働者から失はれ、資本家の命令に従つて労働者を圧迫する事が出来なくなることを恐れた結果に外ならぬ。見るべし。尚彼らは労働者個の国際的、国内的関係の自分の利益（資本家の利益と認め！）の為めに破壊して労働者にあの失敗を与へたのである。マクドナルド、アンダースン達が戦時政府に向つて労働者の利益になる様な事、例へば『値り騰貴するな』『補償を出して賃金を値上せよ』とか、一寸考へれば労働者の利益になる様な事を申出た。その理由は何か。彼らは自分の口から自白する『産業平和の為めに』『平和にストライキを終結せしむる為めに』是らを要求したのに外ならない。即ち労働者の反抗が激化して資本家に多くの損害を与へない様にするには圧迫せずに、早い中に少額の賃金値上げをして彼らを丸めこんでしまへと忠告したに過ぎぬ。

一九二四年政権を獲得した労働党は、サヴエート、ロシアを承認して通商条約を結んだ。これはロシアに賛成してゞあらうか。否、マクドナルド自身が云つてゐる『予は××主義には反対する』と。彼は、（イ）サヴエート・ロシアに商品を輸出して自国産業の回復を計る為（ロ）国際聯盟にロシアを加入せしめる事、（ハ）対露債務問題の解決の為（ニ）ロシアの印度植民地解放支持を防止する為、等々であつて、つまりは帝国主義的搾取を続行する為にサヴエート・ロシアを承認したにすぎぬ。又××支那の労働者農民を弾圧するために、世界ブルヂョアジーの先頭を切つて『居留民保護』を名として出兵したのも此の為に外ならない。吾々は明かに知り得た労働党はブルヂョアの労働者階級に派遣された出張所であると云ふことを。次ぎに今度再び政権を獲得した労働党の政策を見よう。

八時間労働制を批准すると云ふ。此れは労働者の利益を意味しない。何故なら労働時間は八時間になつても機械の発達に依つて労働はより強化されるから。軍縮会議の促進、吾々は彼等の軍縮会議は、その口先の如何に拘はらず必ず戦争準備のためのものである事を知つてゐる。（インタナショナル五月号を見よ）米国との親善政策は、英米帝国主義間の矛盾の現はれの険悪にすぎない。又失業者救済政策は如何に。資本主義が存在する限り失業は無くならないどころか益々ふえるだから事業大救済費支出等は一時的に失業者にちよつぴりパンを与へて反抗をごまかすだけだ。のみならず此新事業に依つて利潤を得るのは誰であらうか。言はずと知れた資本家共だ。以上に依つて吾々は労働党を初めブルジョア議会で多数を占めるやうな所謂無産政党は決して吾々の味方ではない事が判つた。では吾々の味方である政府は何か、又どうして作るか。それは吾々労働者階級が吾々の政策、×××に指導されて資本家地主の政府を倒し労働者農民の××（サヴエート）を××するより外に道はない（中略）

吾々プロレタリアートの×はブルヂョア議会を選挙を通じて奪取らうとはしない、なぜならば、吾々労働者が吾々の政府を作るためには大衆的×××によつて資本家地主の手から国家××を×ひ取らない限りなし得ないからだ、だから如何に議会に於て多数を占めようとも獲得し得ないのだ、されど、それかといつてプロレタリアートの党は議会に選挙を通じて吾々の代表を送ることを拒否するものではない、議会は吾々の闘争の一舞台である、何故ならば、議会こそは資本家地主階級の代表及び裏切り者社会民主々義者をもふくめての一般の労働者農民抑圧者共が如何にして吾々を圧迫し搾取するかを相談するオシヤベリの機関に過ぎないからだ、されば吾々の代議士はこの議会の機関を利用して彼等の陰謀を暴露し吾々の利益を擁護するのだ。

吾々の利益は議会外の大衆的闘争（ゼネスト・デモ等）によつてのみ擁護せられるのであり、××的代議士は、只単に議会内に於て議会外の大衆的運動の支柱を占むるにすぎない。吾々の党は『投票をかき集める』ために資本家にさへ媚を売ることを恥としない所謂無産党とはちがふのだ。かゝるプロレタリアートの×は又英国にも存在する、それこそイギリス×××である。英国×××は一人の代議士をも出し得なかつた。然し乍ら一九二三年の総選挙の時に一万票より獲得し得なかつたが今年はどうだ、その五倍、五万余票を獲得したではないか。これこそ××党の強化を意味する。政権を取つた労働党は益々その正体（ブルヂョアジーの代弁者）をおくれた労働者にさへ知らしめるであらう。最初に婦人参政権を主張したといふ理由を以て労働党を支持した労働婦人も近く目覚めるであらう。

関東出版労働組合教育部



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

特別讀物

# 社會主義運動思出話（其十二）

―第八節―日刊平民時代―

岡野辰之介

## 一、監獄をやめたワケ

僕は成田中學校に數年居た。當時同中學校は出來立てのホヤホヤで、徵兵猶豫の特典がなく、晩學の僕は、愚圖々々して居ると徵兵に引張り出される心配があつた。そこでヒドイ工面をして上京し某大學に一年間の月謝を納めて入學したのである。之れで二十八までは勉強が出來ると安心した。然しテンデ學資が無いんだから、勉強が出來る筈はなく、遂に役人に成つたことは前に書いた。

役人が内職をすることはキツイ御法度だが、何しろ安月給で父母と妹との四人暮らし、生活が苦しいと共に努力のストックにも困つた。スルト同じ家主の持つて居た素人下宿向の七間もある家が明いた。家賃十五圓、一年ばかり其の家主に家賃を拂つたので信用があつたから、敷金なしで借して呉れた。そこへ移つて支那人を五六人置き自分は相變らず監獄勤めをして居る内に親爺は死んだ。

僕は東京に出た當時、成田中學校長を退いて東京に戻つて居た竹内楠三先生の所に一年ばかり玄關子をして居たことがある。竹内先生は木村鷹太郎と親友で、木ムさんはヨク遊びに來ては酒など飲んで、高談放論をして行つた。木ムさんは帝大文科の選科出であつた。竹内先生は獨學で心理學に造詣した方で、之はクリスチャンであつた。そして先生から『君も木村君のやうに大學の選科に行けと勸められた。晩學ではあつたし、學資が無いんだから正則に高等學校から大學などゝはマダルコイ、選科なら三年だけでよいといふので、大學の選科生が常に師にコビリ附いて居た。勿論、木ムさんと同じに哲學をやるつもりであつた。

素人下宿だけでドウにかに食へるやうになつた。そうすると大學選科病が再發した。トウトウ監獄を辭めてしまつた。帝大文科の選科生になるつもりで………三十九年の秋だつた。僕時に年二十七。

## 二、日刊平民に入る

モウ官吏ぢやない、大ビラで同志先輩の門を叩くことが出來る。尤も官吏だつた時代からチョイチョイ其の門を叩いては居つたが、何時選科生に成れるか分らないし、之れと云ふ仕事もないのでセッセと同志先輩の門を叩いたものだ。尤も大に議論をするでもなく、何時も幸德や堺の所に行つて、他の連中が色々と意見を吐いたり、反駁したりするのを聞き入るだけであつた。

或時幸德の所に行くと『今度日刊新聞が創刊されるが、校正係りが一人は決定した者があるが、モウ一人無くてはやれないんだが、ドウセ君は遊んで居るんなら、やつて呉れないか？』と相談を持ちかけられた。僕は其の年に成るまで校正といふことを知らなかつた。夫でも物の本に誤植があることには氣附いて居たから、夫れを正すのが仕事だらうと思つたが、一方未だ選科病が全癒しなかつたから、何れ考へて返事するといふやうなことで分れた。

家に歸つてから經濟係だつた母に、經濟狀態を尋ねると、大學生所ではないことが分つた。そこで選科生は決然思ひとまつて、日刊平民新聞の校正係りに成つた。月給は十圓貰つたり、十二圓貰つたり、一番多く貰つたのは、校正の外に『僧劍の門徒』といふ讀物を書いた時である。氏の『僧劍の門徒』は山川氏の斧正に依つて非常に讀者に歡迎せられ某氏の如きは『幸德先生が書いてるんだと思つて讀んで居た』といつて呉れた。生れて初めて讀物を新聞に載せて、こうした讃辭を受けたのであるから、ウレしくてゾクゾクする程であつた。又山川は僕が看守に成り立ての時、假出獄の呼び出しに行つた者であることを知り、妙な廻り合せだと嘆息之れを久しうしたものである。

## 三、日刊平民新聞

日刊平民社は新宿驛の直ぐ隣りの家だつた。表の下を機械場にし、二階を編輯部にし、奧の二階が編輯室、奧の下が事務室であつた。事務室は椅子テーブルであつたが、編輯室は疊で小さい机を幾つか列んだ寺小屋見たやうなものだつた。二階の編輯部と編輯室の間に、應接室と校正室とがあり、校正室は三疊で、校正主任は十九歲の德永保之助、其の下に二十八歲の僕が居た譯である。德永は週刊平民で鍛へて居り、週刊平民倒れて同光社の校正に成つて、校正では玄人であつた。此の二人で日刊四頁の校正をしたのであるが、今日の四頁なら何んでもないが、ミダシは二號か四號に限られ、今日の新聞のやうに小ミダシを幾つもつけないし、ミダシも一段で、初號三段ヌキといふやうなものはなく、全面五號活字でギッシリ詰まつて居て、今日の新聞の三倍も五倍も内容があつた。しかも紙面の論説は第二面で、何れも長い論文ばかりだから、讀みでのある重々しいものであつた。記事は寥々たるもので雜報が載つても今日の調子とは全く異つて居た。幸德傳次郎



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

し、惡○敵○を寒からしめても、今から見ればお上品の域を脱しなかつた。幸徳は餘り出社せずに論文や、『柏木より』といふ隨筆を送つて寄越した。出社する時には厚いオバーを着て、毛糸のボト〳〵した襟巻きをして來た。よく『健康が良くでない』といつて出て來なかつたのであるが、出て來れば病人とは見えぬ元氣さであつた。

讀物の呼び物となつたものには、荒畑深尾兩人が擔當した『目白の花柳郷』石川三四郎の『日本社會主義史』山口孤劍の『下田歌子』竹内余所次郎の『東京大地主研究』等があつた。山口が下田歌子攻擊の材料に、多くの色男から彼女に送つた艶書を、ドコでドウ手に入れたものか、一束持つて居たことは僕をして彼の探訪的手腕にも敬服させた。若宮卯之助もウノー・ダーヴルユの名で、寸鐵殺人的な批評を投書し、其の書き方が面白いので拾ひ上げられた、竹下夢二が有名になつたのは、實に日刊平民に眼の大きい美人畫を公にしてからである、山崎今朝彌を天下に紹介したのは、實に幸德の『柏木より』であつた。

當時の編輯局員を左に書きつけて置く。

幸德　秋水、堺　利彥、石川三四郎、西川光次郎、原　霞外、荒畑　寒村
山口　孤劍、山川　均、赤羽　巖穴、深尾　昭、岡野辰之介、

右の内幸德、原、山口、赤羽の四人は死んだ。何れも其の過去帳を書いたが、一人赤羽はまだ書かない。彼は信州の産で早く米國に遊び、日刊平民沒落後は社會新聞に入つた。社會新聞の分裂後は西川の東京社會新聞に趨り、夫れから山崎今朝彌と『法律と文學』といふ月刊雜誌を出したりしたが、『農民の福音』と題するパンフレットを出版して、秩序紊亂罪に問はれ千葉で牢死した病名は胃擴張であつた。彼は硬派のペリ〳〵であつたが、軟派の中堅西川と事を共にしたのは、生きんが爲めも勿論であつたが、妙な感情問題で硬派に容れられなかつたのである。『農民の福音』を印刷したのは岡千代彥で、彼れも此の爲めに再び牢獄に投ぜられた。硬派とはアナで今の極左、軟派は極右だ。

## 四、事務と廣告

日刊平民が出來た前年の暮に、芝兼房町の寄席で其の披露會があつた。其處で新聞の社員が紹介せられ挨拶をやつた。社長竹内兼七が壇に立つと、四方から天ちんらんちんと彌次が飛んだ。何か東北辯で一席辯じ立てたが、よくは分らなかつた。天ちんらんちんとは天眞爛漫といふことで、天眞を天ちんといふのは東北の常だが、らんちんは少し非道いと思つた。多分彼は新聞學問で、ルビの誤植をそのまゝ覺え込んで居たのだらう。夫れを平氣で亂發するので、遠慮のない社會主義者が、恰も彼れのニックネームのやうにしたのである。僕は社長竹内を見たのは其の時だけで、爾來三ケ月日刊平民社に勤めた。否、其の半分は泊り込りして居たが、終ぞ彼れの顏を見たことがなかつた。此の時擧次られて金を出すのがイヤに成つた譯ではあるまいが、彼は初め約束した丈けの金を出さなかつた。而も其の金を融通資本とせず、社の家屋や機械を買つて固定させてしまつたから、サア金が足らんで困つたのである。其の爲め堺は紀州

に大石を口説き落としたり、其の他一口五十圓の出資人を募集したりして、ドウにか新聞は出したが、實は出さない先から貧乏人の嫁入たることは分つて居たのである。いよ〳〵新聞は發行禁止となつた。社長が給料を出さないので、少壯有爲の社員が社長の所に强談判に行つて、いくらかムシリ取つて來たといふ報知が傳ぜられた。此の社長の下に事務を承はつた面々は、

會計主任村田四郎、販賣部主任森近運平、販賣部員宇都宮卓爾、庶務係百瀬晋はであつた。廣告部は

部長椎橋重吉、部員加川助男、吉川守邦、伊藤潔

の四名で、椎橋も加川も伊藤も單なる廣告取で同志ではなかつた。唯吉川守邦のみが硬派のチヤキ／＼であつた。吉川が赤羽と運命を共にして、軟派の西川を助けたのは喰はんが爲めには相違ないが、同じ傾向の硬派から疎んじられなかつたからである。今彼が疎んじられるのを見ると、ツク／＼ノーマネー、ノーフレンドといふ西諺の眞を欺かざるを知る。

……（後列）向つて右より一番目宇都宮卓爾、三番目神崎順一、四番目岡野辰之介、五番目村田四郎、六番目石川三四郎、七番目山川均、八番目堺利彦、九番目荒畑寒村、十番目安成貞雄、十一番目山口孤劍、十二番目赤羽巖穴、十三番目西川光次郎（前列）同一番目百瀬晋、二番目八木某、三番目椎橋重吉、四番目德永保之助、五番目齋藤兼次郎、六番目森近運平、七番目淺尾昭

# 研究會の組織方法

花房静夫

## 奴等の敎化綱

プロレタリアートの急速なる强化發展は、今や資本地主を極度に戰慄せしめ、從つて彼等は一切の反動的要素を動員して吾々の陣營に對して必死的襲擊をほしいまゝにしてゐる。然し斯う云ふ言葉を吾々は單にお題目のやうに繰返してゐるだけであつてはならない。吾々の仕事は常に具體的に、實質的に展開されねばならぬ。

マルクス主義レニン主義は身を以て語られねばならぬ。そこから吾々の理論が生れる。理論と實踐の正しい關係はこゝから展開される。

しかも吾々の身は生れ乍らにして階級敵たるブルヂョアジーの重圍の中に置かれてゐるのである。吾々が物心がつくや直に『義務敎育』と稱するブルヂョアジーの初步的敎育を强制される。

殊に帝國主義××の前夜である現在の瞬間、奴等は此等一切の敎化機關を極度に利用してプロレタリアートを永遠の鐵鎖につなぎとめやうとしてゐる。

## 工場を中心に

斯う云ふ時期と情況の中にあつてプロレタリアートの有力な敎化方法であるところの研究會は如何に組織され發展されねばならぬか？

『工場は勞働者の城砦である』此の事は吾々が研究會を組織する場合に於てもまた充分に適用されねばならぬ、即ち研究會は常に工場を中心として行はれなければならない、工場から遊離したインテリゲンチアの左翼的虛榮心から生れたところの研究グループは稍やもすると我が左翼陣營を粗害する場合が多い。これはつゝしむべきことである。

の解放運動に關心を持つインテリゲンチアーは工場を中心とする研究會に參加し、或ひは工場を中心とする研究會の組織に努め、以てその豐富なる知識と精力とを最も効果的に工場に向つて集結させねばならぬ。

## 組織と方法

そこで研究會は如何に組織され進められて行くか？

一、研究會は出來る だけ會員の自發的方法によつて行はれねばならぬことは云ふまでもない。資本家地主の學校では奴等の目的に從つて强制する。生徒は何んでもかでも奴等の敎へ込むことを頭の中へつめ込めばそれでよい。

勞働者教育即ち吾々の敎育は全然これとは反對だ。提出された課題に對して會員は徹底的に批判討論をやる。指導的立場にある講師はなるべく自分の意見を吐かず討論を指導し整理し、充分會員が問題の討議をなしたころその課題の結論を與へてやればよい。

一、研究はなるべく鬪爭と結びつくことが必要だ、それは理論と實踐とが最も容易に行はれるからだ、けふ研究會でなされたことが明日直に工場内で實踐に移されるそして實踐によつて研究會で展開された理論の正誤が證明される、即ち研究會と工場内に於ける活動の辨證法的相互批判が知らず知らずの間になされ、幾度か繰返される過程に於てやがて理論と實踐との正しき關係を意識的に獲得することが出來る。

勞働者が賃銀、賃下、ストライキ等に直面してゐる時、小むづかしい哲學上の理論や古代の社會學經濟學を研究したところで何んの役にも立たないのみか何等の興味をも持ち得ないであらう。

吾々の研究會は常に日常工場内に生起するところの具體的な問題を捉へ、或ひは一般時事問題等を問題として行はれねばならない。此の事によつてのみ現在の資本主義組織機構を知り而して如何に鬪ふべきかを研究することが出來る、だから、云ふまでもなく研究會は鬪爭と緊密な關係によつて鬪爭をも促進し相互職能によつて

プロレタリアートの指導的闘士は工場の中から生れねばならぬ、プロレタリアート[illegible]發展する。



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

かくて研究會は現在の研究から始め、その必然的な要求から徐々に高度の研究へと進められる。

一、以上の方針によつて研究會の大體のコースが定められねばならぬ。併し此のコースは必ずしも決定的なものでない、種々の客觀的情勢に應じて多少の變更が行はれることもある。

一。斯うした一般的な研究會以外に尚特殊な研究會の必要がある。それは工場内に於ける中心分子のみによる比較的高度のものである。

此種の研究會では主として指導者として必要な理論並に技術、煽動宣傳の方法、工場新聞の作製方法、デモ、自衛團等々の組織指導方法などが研究される。

## 設立の機會

研究會の設立は勿論工場内の組合員の活動的分子が中心となつてやらねばならぬ。

そして先づ着手の一つとしては

(一)工場内で日頃から目をつけてゐた勞働者を一人、二人、三人と集め仕事場に起つた何かの問題を機敏に捉へて組織の機會をつくる。

例へば工場監督に仲間の一人がなぐられたらすぐそれ等の勞働者を集めて、以後かゝる場合はどうしてやらうかなどの問題を提出する、皆んながこれに對して話し合ふ、こんなことは極く小さなことのやうだが、吾々の組織運動は斯う云ふところから始められるのが本當だ、斯う云ふ風にして問題を次から次へと捉へて行く。

又工場で馘首、賃下のやるやうな場合は産業合理化、帝國主義戰爭のバクロに結びつけると云ふやうな具合にする。

(二)若し自分の研究會内に研究會を指導する能力のある同志のない時は他の組合等の指導者に一研究會員として來て貰ふ。

以上の事は極く簡單ではあるが、研究會の發展に缺くことの出來ない諸條件であらう。

# 赤い椿の話(童話)

土佐和芳

1

私の生れた處?

それは可愛い子供たちがよく遊びに來て呉れた廣い野原の眞ン中にあつた、小い饅頭のやうな丘でした。

私がうまれた時は、まだその邊はほんとうに開けてなく、わらぶきの農家が五六軒あるだけで、後はみんな田や畠に區切られてゐました。春になると、そのあたり一面は、五色の毛布を敷つめたやうに、れんげ草やたんぽゝが咲き、空には、ひばりが何の束縛もないように、心行くまで鳴いてゐました。そして私も四五尺程のびた春、初めて赤い美しい花を丘の上で咲かせる事が出來ました。その時の私の、うれしさつたら、どんなでしたか、今の老ひぼけた私にはとても云へない位でした。それから毎日々々、色々な可愛い小鳥が來て、私の枝にとまると面白い歌を唄つて呉れますので、私は何の苦痛も知らずに、づんづん生長して行きました。夏、農家の人達は涼しさうな唄を歌つて、田に稻をうへて行きました、そしてこんどは小鳥と異つて蠅の聲が騒々しいオーケストラのやうにあたりの田に響き、ほたるが、稻田の上をスイスイと飛び交ひました、そして私のゐた丘の上には青い小草が伸びて、毎日子供がくると寢轉んで唄を歌つて呉れました。

秋、田には黄金の波が動いて、思ひ出したやうに鳴子がガラガラ鳴ると、すゞめは黒く群をなして、田から飛び立つと、向うの森の方へとんで行きました。そしてやがて田には利鎌の音がザクリザクリと響き、實つた稻は刈られて行き後には取殘されたやうに案山子がぼんやり立つてゐました。さうして野は次第に淋しく百舌鳥の險な聲がこだまする頃になると、毎朝白く霜が降りて柿の木に鳥がよく鳴くやうになりました

冬、それは私の一番嫌なつらい時でした。でも、今の私に取つてはまだ其時の方がはるかにましだつたやうにも思ふのです。何故なら、今の私は、土地を植へかへられて、寒い風は受けなくなつたが、今迄私が述べて來たやうなそんな自然美に接する事がありませんので、ほんとに淋しい嫌な思ひがするのです。なる程私のやうな者には冬は嫌ひかも知れませんが、それでも田舎の冬は遠山は雪に包まれ、農家のわら屋根に雪のかゝつた樣などは、何共云へぬいゝ景色でした。それにどの位寒風は吹き荒んでゐても、やがては花の咲く暖かい春がこの廣い野邊に訪れるかと思へば、左程苦痛とは思ひませんでした。だから私はいつものんきな氣持で何の束縛も受けずに、自由に大きくなりました。處が、かうした私にも遂に恐怖時代がやつて來たのです。それは



Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

私が花を咲かせるやうになつてから、丁度十五年目の春でした。

と、云ふのは、この農村にも汽車が敷くと云ふのです。そのため、あちらの田も、こちらの畠も工事で目茶々々に荒されてしまひました。色々な野菜を作つてゐた百姓のおぢさん達はどんなに腹を立てゝ怒つたでせうか、でも「お上の事だ仕方がない」と云つて泣寝入りになつてしまひました。そしてやがて工事が完成すると、毎日何回も何回も、汽車が黒い煙をあたりの田の上に殘して疾走しました。

そのため附近の木は黒く汚れ、私達は何とも云へない嫌な感じがするやうになつたのです。

でも何と云つてもどうする事も出來ないので、私などは諦めをかゝへて毎日うらめしさうに汽車を眺めてゐました。さうして今迄のやうな平和な日がたとへ一日でも迎へられるやうにと祈つたのです。

處が。それと反對に、鐵道が敷かれて少時すると、次第と人家が建つて來ました。そして田の眞ン中に大きな工場が出來ると云ふ噂迄も持上つて來たのです。さあ私達の心配はどんなでしたらうか、いや私達より以上に心配だつたのは百姓です。今迄自分の田のやうに作つて來た田を、工場を建てるからと云つて、地主に取上げられるのですもの、それは心配したに違ひありません。だから百姓のおぢさん達は毎日寄合顔をつき合して、色々と協議を開いてゐました。だが小さい時から何一つ學問も受けず、何の干渉もなしに雇はれて來たおぢさん達には、何と云つてもいゝ考へがつく筈がありません。

で、さうする中にいよ〳〵地主の方から正式に立退き命令がやつて來ました。丁度その頃です。農民組合の人達が、可哀想だと云つて、小作人の方へ應援にやつて來ました。

が、どうしたものか、その人達が村へ入るか入らないかに、××の人が澤山で、その人達を引つぱつて行つてしまひました。私は今はかうしてお金持ちの家にゐるのですから何事もよく判りましたが、その時は、何故警察の人達は、××人を苦しめて、お金持ちの人達の味方をするのだらうとふしぎでなりませんでした。

2

財産、命の綱と、一生懸命作つて來た田地を、とう〳〵取上げられてしまつた、百姓のおぢさん達は、其後どうなつたと思ひますか？

可哀想に、食物をあたへて貰れない小羊のやうに、家族中が泣き叫いて、しく〳〵と永い間住みなれたなつかしい村を出て行つてしまつたのです。私は其時、ひとりしよんぼりと丘の上に立つて、村を出て行く人達を涙と共に見送りました。何と云ふ悲慘な事でせうか。私はその時迄、人間の世界には、そのやうな悲しい事が起るとは思ひませんでした。

さて、小作人から田を取り上げたお金持ちの人達は、やがて澤山な土工を雇つて、そのあたり一面土地をならしてしまひました。さうして數人の大工に依つて、完全に大きな紡績工場が私の目の前に建ちそびえました。

さあ、さうなると今迄のやうに靜かだつたその邊はどこへやら、騒然と機械が唸り時間毎に、高い煙突の上にある汽笛があたりの空氣をふるはせるやうになりました。

それから私は色々な悲劇をそこで見たのです。私のゐた所は、丁度工場の裏にあたりますから、晝休みになると、澤山な女工が來て私の下で寝轉んで話をするのです。

が、その女工達の話は、以前農家の子供等が云つたやうな、そんなのんきなまだ見たことのないオトギの國のやうな話ではありませんでした。とにかく彼女らは、その紡績工場にゐる事が、まるで地獄にゐるよりも辛いと云つてなげくのです。さうしてそんな話をしてゐるのを、監督と云ふ男に見つけられると、彼女らはすぐ叱られたり時に依ると撲られたりするのでした。

それから、私はまだその外にもつと〳〵悲慘な者を見ました。それは忘れもしないその工場が建つてから五年目の春を迎へた時でした。その時はどこでも一般に不景氣だつたので、そこの紡績工場にも、澤山な人減らしが行はれたのです。

今迄百人かゝつてしてゐた仕事を七十人にして、その解雇した三十人分の仕事丈けを、今迄より以上に、時間を長くして働かせるやうにしたのです。

それで女工の方も、男工の方も、百人に對する三十人づゝの解雇がありました。

しかし、その解雇した多くは日給者で、後に殘る者の多くは、前借をして工場へ働きに來た、つまり、働く丈け働かねばその借金の全部を負擔する事が出來ぬと云ふ者ばかりです。だからさうした處置に出たこの工場はすぐ今迄と何のかわりもない能率を上げる事が出來るやうになりました。

が、可哀想なのは男女工の人達でした。賃金を貰へない處へ、今迄より以上に働く時間が長くなつたのですから堪りません、でも自分でどうする事も出來ないと知ると其人達は唯云はれるまゝに働くより外に仕様がありませんでした。それに少しでも怠けるやうな事があると監督にすぐ叱られるのですから、一寸の目ばなしも出來ないの



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

です。だから若し女達は仕事の激しい上に、空氣の悪い汚い部屋で豚のやうに雑居生活をやるのですから、次から次へと、肺病に冒されて死んで行きました、それからその中でも、少しみべのいゝ女ならば、すぐ上役達のなぐさみ者になつてしまふのです、そうして腹でも大きくなると何の容赦もなく捨てられてしまふのでした。

3

それは、實に悲しい、戦慄の事でした、私は、今その晩の話を諸君にすると云ふことは、あまりにも恐ろしくてならないのです。

が、今の私として、どうしてもそれを云はなければ居られないのですから申しませう、

とにかく、この話はそれ丈け私にとつては恐ろしかつた事に違ひないのです、それもその筈でせう、私の枝で、七十近いおぢいさんが、細帯で首をくゝつて死んでしまつたのですから。

そのおぢいさんと云ふのは工場の初め頃から居た人で、何年々年をとつても忠實に働くいい心がけの人でした。だがやはり年のせい丈けで、その一年程前から急に病氣がちで充分仕事が出來なくなつて居つたのです。それでこんどの人減らしで第一番の槍玉に上げられたものも、この人でした。

それにおぢいさんは可哀想な人で、家には不具者の孫が一人と、年がよつて目の不自由なお婆さんとの三人ぐらしです。それでどうしてもおぢいさんが働かねばならないのです。

でも工場で首切りになつてしまふと、もうどこもそんな不景氣な時ですから、雇つては呉れません。それでもあちらこちらと働く口を探して歩いてゐる中に、遂、苦しみながら生きてゐるのが馬鹿らしくなつて、長い間働いた思ひ出深い工場で死なうと、私の所へやつて來たのです。その時のおぢいさんの姿と云へば、ほんとに思ひ出すさへ身の毛がよだつ程です。白毛まぢりの頭髪はぼうぼう延びて、青白い魂の消へうせたやうな顔は、どう見ても幽霊と云ひ度いやうなのです。ひよろひよろする足を引ずりながら、私の下迄來ると、何思つたのか、暫らくは工場の方を眺めて泣き續けました、がやがてキッとなつて、私の梢を見上げると、薄氣味悪い笑ひをニヤリとしました、さうしてこんなことを言ひました。

『俺は死なう、生きて苦しむより死んだ方がどんなにましだか知れない。僕達はいくら働いても金持なんかにはなれないのだ。さうして俺らが働く程、唯太つてゆくのは金持ちの奴等ばかりだ』

それかちおぢさんは細帯を私の枝にかけるとまもなく首をくゝつて呻きはじめました。

その時ばかりは、恐ろしいのと、悲しいのとで、私は胸一ぱいでした。さうして働ける間は安い賃金でこき使つて、働けなくなると何の容赦もなしに首を切つて行く工場主のやり方が、癪にさはつて堪りませんでした。

4

その日は、會社の社長とお子さんが工場を見に來ると云ふので、工場の隅から隅迄きれいにはき清められて、塵一つもないやうに何も彼もがきちんと整頓されてしまひました。

私は毎日、長く働く時間に依つて苦しめられてゐるその親玉が來るのに、何故人々はこんなに迄してその人を迎へるのかしらん？と思へば、ふしぎで堪りませんでした。

さて、自働車の爆音高く、社長と、お嬢さんとが、沢山な人に取巻かれてやつて來ました。工場の女工達は、お嬢さんの服裝のあまりにもきれいなのに、唯呆然と見とれました。

だが諸君よ、忘れてはならない事は、このお嬢さんのきらびやかな着物も、さうして社長のフロックも、シルクハットも、みな働く人達の汗と油の結晶ではないでせうか？私の考へはまちがつてゐるかも知れませんが、とにかく私はさう思つてゐるのです。

それだのに、工場の女工達は、その着物がきれいだと云つてほめてゐるのです。何と判らない人達でせうか！

それから社長とお嬢さんは、あちらこちらと工場の中を見巡つて、やがて私のゐる裏の広つ場へ來ました。それから社長は、監督達に云ひ付けて、男女工の全部をそこへ集めました。そして一段高い臺へ上つて、一條の訓辞をみなにあたへました。處が又とてもその文句が面白かつたのです。

『諸君、僕は當會社の社長中塚だ。僕は諸君と逢ふ機會の少かつた點に於て、諸君の中でもまだ僕を知つてゐない者があるだらうと思ふ、だからこの際よく諸君は、見知り置きを願い度い。――（中略）――僕は常に諸君を自分の子のやうに可愛いく思つてゐるのである。だから諸君も僕を親と思ひ、よく會社につくして呉れないといかん



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

とにかく人間と云ふ者は、まじめに、一生懸命働きさへすれば、必ず成功の出來る者である。だから諸君はこの事を忘れないやうに、命のあらん限り働かねばいかん」

それから悠々と社長の太ッちよは男女工に薄気味悪い、馬鹿にした笑をみなに投げあたへて、帰りかけました。

その時お嬢さんの眼に映じたのが、今を盛りと、真赤な花を咲かせてゐた私なんです。

『まあ、お父さん、何ときれいな桜、私この花お家の庭へ植へたいわ』

さう云つてそのまゝ帰つて行きましたが、まもなく私は、男達の手に依つて、社長の家の庭へ植へかへられてしまひました。

5

遂に、お金持ちの家へ來てしまつた私は、うれしいと云ふより、何故か堪らなく嫌な日を送るやうになつてしまひました。

それもその筈です。私は今迄に、色々な悲惨を見せつけられ、そのために世の中のまちがつてゐる事に、堪らなく不平を感じてゐるのですものさうしてその贅沢人であるお金持ちの家へ來たのですから無理もない訳です。毎朝、毎夕下男や、書生が水を呉れますが、又色々と木作りが手入れをして呉れますが、私には、何も彼も唯腹が立つばかりなのです。何故なら、此処の人達は、毎日どんな事があつても、一つも働くやうな事がなく、やれピアノだとか、ダンスだとか、お花見だとかにうかれてばかりゐるのですもの、それからどこへ行くにも自動車と云つたやうに、歩かうとはしないのですから、とても癪なんです。今迄私が見た貧乏人の人達の中で、誰が一人かうしたぜいたくな生活をしてゐる者があるでせうか不幸にして私はさうした者を知らないのであります。

だから私は、此処へ來てからと云ふものは腹立たしく花を咲かせませんでした。

するとどうでせう『花はもう咲かないからこの木は抜いて捨てゝしまいませう』とおベソ嬢が云ふのです。私は今引ッこぬかれては死んでしまふのですから大変ですだから來年の春はどうしても花を咲かせなければならないのです。

諸君よ、どうかこの哀れな私をお察し下さい。私は今ではもう完全に、金持ちのトリコになつてゐるのです。さうして、どうでもここの人達の云ふ通りにしなければならなくなつてゐるのです。何と自由を失つたものでせうか？私は以前、野原の真ン中でひばりの歌や、農家の子供らの唄を聞いた時が、どんなにたのしかつたか、今では堪らなくそれらの事がなつかしくてならないのです。

だが今私がどんなに祈つたからとて、もうそんな楽しい時は、二度と私にはめぐつて來ないだらうと思ふのです。だから私はせめて今迄私の見て來た事のあらまし丈けでも、諸君に知つて貰ひたいと思つて此処に述べたのです。諸君よ。どうか私の言つた事が正しいか、又まちがつてゐるかを、よく御判断下さいませ。そして少しでも参考になるやうな點があれば、私は實に光栄だと思つてゐるのです。

一九二九年四月二九日記(オハリ)

## 編輯後記

十五年前世界戦争の火蓋の切られた八月一日は、全世界の、労働者農民の恨みの日である、コミンタンは、ソビエット、ロシヤを×れ、支那××の援助、帝国主義戦争反対等のスローガンをもつて、此の国際×色デーを闘争する事を決定した、更に八月一日は、ウラジオにおいて太平洋沿岸の運輸労働者によつて第二回汎太平洋労働会議が開催され、去る七月二十日から巴里において反帝第二回世界大会が持たれてゐる日本のすべての労働者、農民の任務は最早明白だそれは、××の資本家地主との闘争を×を以て戦ひ抜く×××××を倒壊し又、世界的には唯一の組織たるコミンテルンの強化のために協力する事である。

民政党内閣の樹立が出来なかつたのは、同志に対する通信の行違ひとは云へ返すくも遺憾である。しかし、資本家地主の民政党政府はわれわれの×である事は明白である。

左翼政党の微動だもしない確立のための闘争は一切の社会民主々義との容赦なき闘争を通じてこそ可能である。左翼政党に対立する反動的存在に対しての果敢なる闘争は本誌の今日における使命である。殊に、本誌は最近まで中間派の領域にあつたがため、それに対する影響力を有してゐる。日本大衆党より前進し來たところの戦闘的大衆の×××及び××青年同盟及び××労働組合等への協力と社会民主主義との闘争の具体的方策、及び階級的なる中間派大衆へのアッピールを集中し編輯した本誌は今は工場へ農村へと持ち込まなければならない。

今月号に於ては組合同盟の脱退、労働者に於て労農派は如何に裏切つて除名されたかを示し、更に労農党の具体的形組織としての自主的組合青年部の方針が採択されたのも本紙の以上の目的と立場の上から決定されたものであつて、一同志が云つた如く、階級闘争の領域に於て一つの働ける役割を果し得るものであらう事を、編輯者は深く自信するものである。



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

# 日本社會運動通信

## 週刊月曜日發行

### 掲載要目

無産政治運動
勞働組合運動
勞働爭議
農民運動
小作爭議
電燈値下運動
電車爭議
俸給生活者運動

水平社解放運動
無産青年運動
無産婦人運動
消費組合運動
國際情報
殖民地諸運動
勞働賃銀調査
物價經濟調査

### 定價

一ケ月　金二十圓
半ケ年　金百十圓
一ケ年　金二百圓
（但し前金）

發行所　東京市芝區櫻田本鄉町一四
**日本社會運動通信社**
電話銀座　五五四一番
振替東京七八五五九番

金銀
白金
德力本店
東京市神田區松田町

婦人良薬
喜谷實母散
產前、產後、血の道、引風、冷込等に特効有
▲全國到る處に販賣す
本舗
東京京橋區中橋大鋸町
喜谷市郎右衛門
電話京橋五五番　五六番